

北秋田市総合戦略検証会議

効果検証シート

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

総合戦略						
戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
1	I 新規就農者数【累計】	農林課農業振興係	26人	18人	B	69.2%
2	II 地元雇用及び正規雇用者数【累計】	商工観光課商工労働係	90人	97人	A	107.8%
3	1 担い手への農地集積率【累計】	農林課農業振興係	82.3%	83.3%	A	101.2%
4	3 主な園芸作物販売額（主要6品目）【累計】	農林課農業振興係	376百万円	259百万円	B	68.9%
5	4 比内地鶏飼養羽数【累計】	農林課農業振興係	95,800羽	73,240羽	B	76.5%
6	1 林業就業者数【累計】	農林課林業振興係	178人	173人	A	97.2%
7	2 造林面積（新植を除く）【累計】	農林課林業振興係	1,178ha	1,082ha	A	91.9%
8	3 再造林面積（新植）	農林課林業振興係	33.0%	15.7%	D	47.6%
9	4 路網延長（林道及び林業専用道等）【累計】	農林課林業振興係	7.96m/ha	8.18m/ha	A	102.8%
10	1 起業・創業者数【累計】	商工観光課商工労働係	6人	7人	A	116.7%
11	2 新規出店者数（賑わい再生支援事業）【累計】	商工観光課商工労働係	4件	9件	A	225.0%
12	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】	商工観光課商工労働係	98件	98件	A	100.0%
13	4 アンテナショップの取扱商品数	商工観光課商工労働係	160商品	111商品	B	69.4%
14	1 森吉山県立自然公園入込数（延べ人数）	商工観光課観光振興係	62,000人	56,690人	A	91.4%
15	2 歴史文化施設・祭り入込数（延べ人数）	商工観光課観光振興係	40,800人	30,824人	B	75.5%
16	3 北秋田市宿泊施設売上推計額（推定単価×宿泊者数）	商工観光課観光振興係	465百万円	387百万円	A	83.2%
17	4 訪日外国人宿泊客数（延べ宿泊者数）	商工観光課観光振興係	3,100人	10人	D	0.3%
18	5 道の駅等売上推計額（推定単価×利用者数）	商工観光課観光振興係	292百万円	141百万円	D	48.3%
19	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数	商工観光課商工労働係	48人	48人	A	100.0%
20	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】	商工観光課商工労働係	5件	7件	A	140.0%
21	4 新規進出事業所数【累計】	商工観光課商工労働係	4事業所	4事業所	A	100.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	61.9%	(13/21)	
戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
22	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】	総合政策課移住定住支援室	203世帯260人	212世帯296人	A	113.8%
23	2 移住定住相談者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	657人	584人	A	88.9%
24	3 体験移住参加者数【累計】（ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む）	総合政策課移住定住支援室	286人	367人	A	128.3%
25	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	223人	255人	A	114.3%
26	1 友好交流都市との交流事業数【累計】	総合政策課政策係	11事業	12事業	A	109.1%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	100.0%	(5/5)	
戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
27	I 出生数【単年】	福祉課こども福祉係	93人	89人	A	95.7%
28	II 婚姻数【単年】	総合政策課移住定住支援室	89組	57組	B	64.0%
29	2 出生数に占める低出生体重児の割合	医療健康課健康推進係	7.0%	9.0%	B	77.8%
30	3 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合	医療健康課健康推進係	82.0%	77.1%	A	94.0%
31	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合	福祉課こども福祉係	65.0%	64.2%	A	98.8%
32	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合	福祉課こども福祉係	75.0%	66.7%	A	88.9%
33	1 市の審議会、委員会等の女性参画率	生活課地域推進係	27.0%	27.2%	A	100.7%
34	2 市役所における女性管理職員の割合（各年度4月1日現在）	総務課総務係	30.0%	21.3%	B	71.0%
35	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合	生活課地域推進係	30.0%	24.6%	A	82.0%
36	4 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合（取得職員/対象職員）	総務課総務係	100.0%	50.0%	C	50.0%
37	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合（取得職員/対象職員）	総務課総務係	50.0%	21.4%	D	42.8%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	54.5%	(6/11)	

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
38	1 地域が住みやすいという市民の割合【単年】	生活課地域推進係	78.5%	71.4%	A	91.0%
39	2 活発に活動が行われている自治会（町内会）の割合	生活課地域推進係	74.5%	59.6%	A	80.0%
40	3 地域活動に何か参加している市民の割合	生活課地域推進係	75.0%	63.7%	A	84.9%
41	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均-3.0%	A	94.2%
42	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均-7.5%	A	87.9%
43	3 県学習状況調査における正答率	学校教育課義務教育係	県平均+0.1%	県平均±0.0%	A	99.9%
44	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合	学校教育課義務教育係	70.0%以上	34.6%以上	D	49.4%
45	1 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査（コムコム含む）	生涯学習課生涯学習係	90.0%	84.5%	A	93.9%
46	2 自主講座への移行数【R3～R7年度毎の移行数の合計】	生涯学習課生涯学習係	24講座	23講座	A	95.8%
47	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合	生涯学習課生涯学習係	60.0%	63.5%	A	105.8%
48	4 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査	生涯学習課生涯学習係	90.0%	100.0%	A	111.1%
49	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】	生涯学習課生涯学習係	49,000人	48,140人	A	98.2%
50	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成	生涯学習課生涯学習係	12箇所	0箇所	D	0.0%
51	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】	都市計画課都市計画住宅係	84.0%	52.9%	B	63.0%
52	2 公営住宅等の入居率（入居戸数/全戸数）【累計】	都市計画課都市計画住宅係	84.0%	82.6%	A	98.3%
53	3 特定空家等に認定した家屋のうち、通知3年以内に解体された割合	総務課危機管理係	93.3%	87.5%	A	93.8%
54	4 住宅耐震化率【累計】	都市計画課都市計画住宅係	67.0%	64.4%	A	96.1%
55	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】	都市計画課都市計画住宅係	3箇所	2箇所	B	66.7%
56	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合	財政課地籍調査室	45.0%	45.0%	A	100.0%
57	1 自宅の除雪について特に困っていないことがない市民の割合	建設課管理係	25.8%	20.8%	A	80.6%
58	2 自治会や近所の人と協力して（間口や）道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	48.6%	35.1%	B	72.2%
59	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数	高齢福祉課高齢福祉係	7団体	5団体	B	71.4%
60	1 秋田内陸線の乗車人数	内陸線再生支援室	264,000人	177,192人	B	67.1%
61	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数	総合政策課政策係	131,000人	122,254人	A	93.3%
62	3 大館能代空港利用者数	総合政策課政策係	207,740人	45,346人	D	21.8%
63	1 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合	総務課危機管理係	68.4%	58.2%	A	85.1%
64	2 防災情報メール登録者数【累計】	総務課危機管理係	1,845人	1,731人	A	93.8%
65	3 自主防災組織の結成数【累計】	総務課危機管理係	48団体	45団体	A	93.8%
66	4 防災ラジオ配布割合	総務課危機管理係	90.1%	74.3%	A	82.5%
67	5 河川環境の整備【累計】	建設課工務係	3河川	3河川	A	100.0%
68	1 北秋田市でテレワーク（ワーケーション）に取り組む経費を助成する件数【累計】	商工観光課商工労働係	2件	0件	D	0.0%
69	2 オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数【累計】	総合政策課移住定住支援室	45人	98人	A	217.8%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	71.9%	(23/32)	
			総合戦略合計（80%以上）	68.1%	(47/69)	

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

総合計画						
基本理念1	健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり	担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
70	1 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合	医療健康課地域医療対策室	63.0%	56.8%	A	90.2%
71	2 市民病院の常勤医師数（※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数）	医療健康課地域医療対策室	24.0人	23.0人	A	95.8%
72	3 北秋田市民病院満足度（職員への対応）	医療健康課地域医療対策室	96.0%	97.2%	A	101.3%
73	1 健康受診率（特定検診）	医療健康課健康推進係	40.0%	36.7%	A	91.8%
74	2 がん検診受診率（5大がん検診受診率の平均、全対象に対する率）	医療健康課健康推進係	25.0%	9.1%	D	36.4%
75	3 メタボリックシンドロームとその予備群の割合	医療健康課健康推進係	10.0%	9.5%	A	105.3%
76	4 自分のことを健康だと思う市民の割合	医療健康課健康推進係	70.0%	68.3%	A	97.6%
77	5 健康診断を受けている市民の割合	医療健康課健康推進係	30.0%	23.0%	B	76.7%
78	6 心はればれゲートキーパー養成講座受講者数	医療健康課健康推進係	100人	99人	A	99.0%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	77.8%		(7/9)
基本理念2	お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり	担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
79	1 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	77人	59人	B	76.6%
80	2 ひきこもり解消（社会参加、就労）数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	67人	47人	B	70.1%
81	3 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合	福祉課地域障がい福祉係	91.8%	86.1%	A	93.8%
82	1 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者（75歳以上）の割合	高齢福祉課介護保険係	68.0%	66.3%	A	97.5%
83	2 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者（65歳～74歳以下）の割合	高齢福祉課介護保険係	97.0%	96.3%	A	99.3%
84	3 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	5.0%	11.8%	D	42.4%
85	4 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合	高齢福祉課高齢福祉係	36.5%	39.3%	A	92.9%
86	1 福祉施設入所者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	122人	130人	A	93.8%
87	2 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	16人	9人	C	56.3%
88	3 福祉施設から就労継続支援A型・B型への移行者数	福祉課地域障がい福祉係	A型5人 B型8人	A型5人 B型10人	A	114.0%
89	4 就労移行支援事業の利用者数【累計】	福祉課地域障がい福祉係	6人	3人	C	50.0%
90	5 公共施設バリアフリー率【累計】	福祉課地域障がい福祉係	24.5%	24.7%	A	100.8%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	58.3%		(7/12)
基本理念3	命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり	担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
91	1 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合	生涯学習課世界遺産推進係	50.0%	31.9%	B	63.8%
92	2 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合	生涯学習課世界遺産推進係	5.0%	2.5%	C	50.0%
93	3 伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数	生涯学習課世界遺産推進係	1人	0人	D	0.0%
94	4 芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	8.0%	4.2%	C	52.5%
95	5 市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合	生涯学習課文化係	20.0%	52.9%	A	264.5%
96	6 祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合	生涯学習課文化係	35.0%	16.2%	D	46.3%
97	7 市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合	生涯学習課文化係	20.0%	36.0%	A	180.0%
98	1 運動・スポーツに対する満足度	スポーツ振興課スポーツ係	70.0%	57.0%	A	81.4%
99	2 週1回以上運動・スポーツをする市民の割合	スポーツ振興課スポーツ係	50.0%	39.6%	B	79.2%
100	3 スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】	スポーツ振興課スポーツ係	延べ500名 5団体	0名 0団体	D	0.0%
<進捗・達成度>（A）80%以上 （B）60～79% （C）50～59% （D）50%未満			目標達成項目（80%以上）	30.0%		(3/10)

第2期北秋田市まちひととしごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 目標値達成状況（令和3年度版）

基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
101	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量	生活課環境係	642.8g/人・日	689g/人・日	A	93.3%
102	2 総資源化率（リサイクル率）	生活課環境係	15.4%	15.1%	A	98.1%
103	3 不法投案件数	生活課環境係	40件	112件	D	35.7%
104	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合	生活課環境係	32.7%	27.6%	A	84.4%
105	1 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合（冷暖房の温度設定の調整）	生活課環境係	60.9%	52.2%	A	85.7%
106	2 公共施設（市直営施設）におけるCO2排出量	生活課環境係	12,796t-CO2	10,895t-CO2	A	117.4%
107	1 市道の改良率【累計】	建設課工務係	78.8%	78.2%	A	99.2%
108	2 市道の舗装率【累計】	建設課工務係	72.7%	71.6%	A	98.5%
109	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】	建設課工務係	77.9%	75.1%	A	96.4%
110	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】	建設課工務係	9橋	9橋	A	100.0%
111	1 水洗化率【累計】	都市計画課下水道係	87.1%	80.3%	A	92.2%
112	2 経費回収率	都市計画課下水道係	90.0%	90.9%	A	101.0%
113	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】	都市計画課下水道係	1,124基	1,090基	A	97.0%
114	1 有収率	水道課管理係	75.0%	71.2%	A	94.9%
115	2 収納率	水道課経営係	99.0%	99.5%	A	100.5%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	93.3%	(14/15)	
基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり		担当部署	R3年度目標値	R3年度実績値	進捗・達成度	進捗・達成率
116	1 救命講習会を受講したことがある市民の割合	消防本部	60.0%	53.6%	A	89.3%
117	2 住宅用火災報警器の設置率	消防本部	95.0%	89.6%	A	94.3%
118	3 救急救命士数	消防本部	30人	26人	A	86.7%
119	4 消防団充足率	消防本部	90.0%	93.8%	A	104.2%
120	5 消防団協力事業所数【累計】	消防本部	6事業所	8事業所	A	133.3%
121	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】	生活課地域推進係	80人	63人	B	78.8%
122	2 年間の交通事故件数（人身事故件数）	生活課地域推進係	35件	13件	A	269.2%
123	3 交通事故死者数	生活課地域推進係	0人	1人	-	-
124	4 犯罪件数（刑法犯認知件数）	生活課地域推進係	40件	57件	B	70.2%
125	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数	生活課地域推進係	174人	146人	A	83.9%
126	1 職員数（各年度4月1日現在）	総務課総務係	464人	463人	A	99.8%
127	2 実質公債費比率	財政課財政係	11.1%	9.2%	A	120.7%
128	3 将来負担比率	財政課財政係	85.0%	51.7%	A	164.4%
129	4 債権等（市税・負担金・使用料等）収納率	総務課総務係	98.7%	99.0%	A	100.3%
130	5 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合	総務課総務係	60.4%	56.6%	A	93.7%
131	6 ホームページの年間アクセス数	総合政策課広報係	632,000件	787,159件	A	124.6%
132	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合	総合政策課広報係	98.0%	92.6%	A	94.5%
133	8 SNSへのフォロワー数（twitter等）	総合政策課広報係	2,336件	3,955件	A	169.3%
134	9 電子申請届出サービスの利用の拡大	財政課デジタル化推進係	2件	0件	D	0.0%
135	10 RPAを導入する業務数	総合政策課政策係	2業務	1業務	C	50.0%
<進捗・達成度> (A) 80%以上 (B) 60~79% (C) 50~59% (D) 50%未満			目標達成項目 (80%以上)	75.0%	(15/20)	
			総合計画合計 (80%以上)	69.7%	(46/66)	

※単年度の実績がない項目は対象外としています。

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	1	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI(指標)	I 新規就農者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	前期計画の目標値を継承し、毎年7人の新規就農者数の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	26人	33人	40人	47人	54人
実績値	18人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	69.2%
取組の内容と達成状況	JAや振興局等関係機関と連携し就農相談、研修や補助事業の説明等を実施したが、雇用就農者が少なく、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	農業に興味を持つ人が就農にあたりハードルが高いと感じないよう、研修制度の充実や周知等サポートが必要。		
今後の方向性(取組)	研修制度や新規就農者向け補助金、就農相談の周知徹底を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	2	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	数値目標
KPI(指標)	II 地元雇用及び正規雇用者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	地元雇用の安定を図るため、雇用促進交付金等の制度活用について、前期計画と同様に年間6人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90人	96人	102人	108人	114人
実績値	97人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	107.8%
取組の内容と達成状況	毎年、県やハローワーク等と連携し開催している地元企業によるお仕事博覧会(中学生対象)及び、地元高校生への企業説明会を開催し、地元企業への関心を深めることで将来の就職先としての認知度を上げ地元雇用対策に繋がっていることから、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	企業や事業者に対し、市民雇用を条件とした雇用奨励金交付制度等を実施することで、雇用意欲の向上を図っている。		
今後の方向性(取組)	県及びハローワークと連携し、お仕事博覧会、企業説明会並びにお盆と年末に実施する就職相談会に参加する地元企業を増やししながら、魅力紹介など内容の充実を図る。また奨励金交付制度の活用について周知を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	令和3年3月に産業振興促進条例を改正し「産業振興促進条例」を制定した。この改正により雇用奨励金を充実させたことから、これを含めた実績とするため指標の考え方を「雇用促進交付金等」とした。また、実績値は当該年度の採用人数と退職人数を比較し純増分を計上することとする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	3	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	1 担い手への農地集積率【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状が高い集積率となっていることから、農地面積の減少も加味し毎年0.5%の集積率増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.3%	82.8%	83.3%	83.8%	84.3%
実績値	83.3%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	101.2%
取組の内容と達成状況	担い手が農地集積・集約を円滑に進められるよう農地中間管理事業の活用を推進し、目標を達成できた。		
取組の評価・分析・課題	農業法人等担い手への集積が進んでいる。		
今後の方向性(取組)	今後も農地中間管理事業の活用を推進する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	4	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産の振興
KPI(指標)	3 主な園芸作物販売額(主要6品目)【累計】				
KPI(指標)の考え方	振興作物のうち、主要6品目での販売額を毎年30百万円増加させることを目標とした ※主要6品目:きゅうり、やまのいも、ねぎ、えだまめ、キャベツ、にんにく				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	376百万円	406百万円	436百万円	466百万円	496百万円
実績値	259百万円	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	68.9%
取組の内容と達成状況	青果物振興対策事業、推奨品目等販売促進事業等市単独補助事業の実施によりJA及び園芸メガ団地の販売額増加を図ったが、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	市場価格は全国的な作柄等に左右されるため、令和3年度は前年度比で販売数量は増加しても販売額が伸び悩んだ品目があった。		
今後の方向性(取組)	市単独補助事業の継続により生産者の維持・増加を図るとともに、園芸メガ団地に対しては振興局普及指導員とともに経営指導にあたる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	5	種別	総合戦略	担当部署	農林課農業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-1 農業・畜産業の振興
KPI(指標)	4 比内地鶏飼養羽数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現存する加工施設における処理能力羽数の50.0%を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95,800羽	96,850羽	97,900羽	98,950羽	100,000羽
実績値	73,240羽	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	76.5%
取組の内容と達成状況	比内地鶏素雛購入費の助成により、農家負担の軽減による経営の維持を図ったが、農家個人の理由による減羽や廃業により目標達成とならなかった。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルスの感染拡大による首都圏飲食店等の需要低下により、JA全農北日本くみあい飼料(株)比内地鶏加工センターの在庫が多となっている。(県事業により解消中。JA全農の方針により、農家の生産調整は行っていない。)また、社会情勢による飼料代の高騰により、農家負担が増加している。		
今後の方向性(取組)	引き続き比内地鶏素雛購入費の支援を行い農家負担の軽減を行いながら、比内地鶏ブランドの今後の在り方について県協議会で検討し、需要の回復を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	6	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	1 林業就業者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	新卒者、転職者、退職減を含む就業者数のトータルで年間3人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	178人	181人	184人	187人	190人
実績値	173人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	97.2%
取組の内容と達成状況	関係部局との連携した就業支援や、林業大学校入校者への支援をつうじ新規就業者が6人であったものの、退職者が8人となり目標値に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	関係機関等等との連携による支援事業により、新規就業者は6人であり、一定の効果は出ているものの、退職者が8人となり総数は減少した。今後も定年による退職者が増えて行くと予測される。現状は数名が再雇用となっているが、継続的な発展を考慮した場合、若年層の雇用が課題となる。		
今後の方向性(取組)	就業者対策として、支援事業の拡充を目指す(例として、労働環境改善への支援等)とともに、移住定住担当と連携し、首都圏での林学履修者や林業に関心のある人材の掘り起こし、林業大学校進学者への支援の継続のほか、木育教育の実施による山林への関心を高め雇用につなげる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	7	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	2 造林面積(新植を除く)【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間400haの造林事業(下刈り・除伐・間伐・皆伐等)の実施を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,178ha	1,578ha	1,978ha	2,378ha	2,778ha
実績値	1,082ha	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	91.9%
取組の内容と達成状況	秋田県造林補助事業等を活用しながら、市においても嵩上げ補助等を行い施業について支援を実施した。概ね森林経営計画どおりに実施されたものの目標値に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	嵩上げ補助実績数量が年々増加しており、造林の取り組みは増加している。今後は間伐等に加え伐期を迎えた森林の皆伐施業が増えるものと推察しており、事業の増に伴い、嵩上げ補助の増額対応の実施が必要となる。		
今後の方向性(取組)	R5年度より、大型製材工場における稼働が開始されるため、今まで以上の木材需要の増が見込まれることから、継続した支援を実施して行く。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	8	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	3 再造林面積(新植)				
KPI(指標)の考え方	年間伐採面積の1/3の再造林を目標とした。(再造林面積/皆伐面積)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%	33.0%
実績値	15.7%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(R3年度)	47.6%
取組の内容と達成状況	再造林に対する国、県の補助事業に加え、市の嵩上げ補助による支援を実施したが、目標に到達しなかった。		
取組の評価・分析・課題	新植等に対する嵩上げ補助を実施しているものの、山林所有者の高齢化と後継者の流出、木材価格の低下に伴い、再造林の事業量増につながっていない。		
今後の方向性(取組)	R5年度より民有林補助金要綱を改正し、新植、下刈、枝打ち部分に係る嵩上率を手厚くし山林所有者の負担軽減を図り、再造林面積の増加を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	9	種別	総合戦略	担当部署	農林課林業振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-2 林業の振興
KPI(指標)	4 路網延長(林道及び林業専用道等)【累計】				
KPI(指標)の考え方	路網延長年間2.5km増を目標とした。R1(313.7km/40,052ha)→R7(328.7km/40,052ha)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.96m/ha	8.02m/ha	8.08m/ha	8.14m/ha	8.21m/ha
実績値	8.18m/ha	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	102.8%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携し、国、県の補助を活用した林道事業に加え、市の嵩上げ補助による森林作業道整備の支援を行い目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	関係機関と連携しながら、現在、市では5路線の林道整備を実施しており、それに加え、森林作業道への嵩上げ補助を実施し、順調に路網整備が図られている。課題としては、林道整備の要望が増加しており、経営計画等を勘案しながら効果的な整備が必要となってくる。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携しながら、経営計画等を勘案し、優先順位を付しながら効果的な路網整備を実施して行く。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	10	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	1 起業・創業者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	起業・出店による地域の賑わいづくりや、若者世代の呼び込みによる活性化を図るため、毎年1事業者の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6人	7人	8人	9人	10人
実績値	7人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	116.7%
取組の内容と達成状況	新規に創業する企業者に対し県の補助金に上乘せする形で支援している。令和2年度に2店舗、令和3年度には1店舗の申請があり、地域の賑わい並びに活性化に繋がっている。目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	申請時に金融機関や商工会等の指導を受けた事業計画の提出を条件にしていることから、長期的な安定経営が図られており、地域経済の活性化に寄与している。		
今後の方向性(取組)	店舗が開業することにより地域の活性化が図られていることから、事業継続のため開店後のフォローアップを必要に応じて実施し支援していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	11	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	2 新規出店者数(賑わい再生支援事業)【累計】				
KPI(指標)の考え方	空き店舗利活用支援(家賃補助等)により年間1件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4件	5件	6件	7件	8件
実績値	9件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	225.0%
取組の内容と達成状況	市街地賑わい再生支援事業は、空き店舗等を活用した新規事業者への家賃補助(1/2: 4万円上限: 2年間)を支援することで、地域賑わい再生や地域経済活性化を推進する事業として実施しており、令和2年度4件、令和3年度3件の申請があり支援していることから、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	近年、起業する若者が増えていることから、その需要を取り入れ支援することで、地域の賑わいと経済活性化の両立を推進する。年々新規起業数が増えていることから、きめ細かいフォローアップを実施し経営安定を促す。		
今後の方向性(取組)	駅前・銀座商店街のシャッターが下りている店舗は、様々な理由で借り手が多額の改修費を捻出する必要があることから、北秋田市内に適用を広げて対応している。今後も起業する者が支援を受けやすい体制を構築する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	12	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	3 魅力ある特産品推奨認定件数【累計】				
KPI(指標)の考え方	魅力ある特産品の創出に向けて、年間2件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98件	100件	102件	104件	106件
実績値	98件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	北秋田市の特産品の推奨認定を行うことにより、特産品の需要拡大及び品質向上を図る。令和2年度に1件、令和3年度に3件を推奨認定したことで目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	推奨認定を受けた特産品を掲載している「北秋田市のおすすめ品」を冊子の「ふるさとセレクション」としてリニューアルしたことで、様々なイベントで配布し需要を生み出している。		
今後の方向性(取組)	推奨認定を受けた特産品のパッケージや商品の改良などを行う際に、より選んでもらえるような商品にリニューアルする支援を構築する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	13	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-3 商業の振興
KPI(指標)	4 アンテナショップの取扱い商品数				
KPI(指標)の考え方	北秋田市のイメージPR、情報発信力のある商品づくり支援及び販路拡大への取組推進を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	160商品	160商品	160商品	160商品	160商品
実績値	111商品	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(R3年度)	69.4%
取組の内容と達成状況	ハッピーロード大山商店街振興組合と契約し、同組合が運営するアンテナショップ「とれたて村」に商品を発送し、販売してもらうことで、北秋田市内の生産者や事業者の販路拡大と知名度の向上を図る。大山駅前開発によりアンテナショップが移転となり、売り場面積が縮小となったことから取扱い商品数が減少し、目標は達成できていない。		
取組の評価・分析・課題	とれたて村に商品を置いてもらうにあたり、選定検査を受ける必要があり、ここで首都圏で受け入れられる商品についてアドバイスをもらうことができるため、市内事業者にとっては販路並びに需要の拡大に繋がる。北秋田市の農産物や特産品を全国に広めるため、アンテナショップを更にPRする必要がある。		
今後の方向性(取組)	市内事業者へのアンテナショップ利用告知を実施し、売れる商品の構築を促す。また、北秋田市の取扱い商品数を増加させることで市内事業者の販路拡大及び地域経済の活性化に繋げる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	14	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	1 森吉山県立自然公園入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	阿仁スキー場のほかに、森吉山全体と県立自然公園の魅力発信に向けて、1.5%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	62,000人	62,000人	62,000人	62,000人	62,000人
実績値	56,690人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	91.4%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限と入国制限の影響が懸念されたが、国内観光客においては他者との接触が少ないアウトドアアクティビティが好まれた。また、山麓駅舎を改修することにより来場者の満足度向上と消費単価の向上を図った。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、自然観光のニーズが高まっているため、行動制限により観光需要が抑制される中であっても目標に近づけることができた。入込の大半がゴンドラ利用者であるため、継続した誘客と入国規制解除後のインバウンドの取り込みが課題。また、インフラの安全運航や維持管理のほか、利用者への更なる安全対策向上が必要となる。		
今後の方向性(取組)	日本三大樹氷に加え、貴重な自然の保護に配慮しながら、様々な自然体験を提供していく持続可能なツーリズムの展開のほか、関係団体等と四季を通じた連携体制の構築を図っていく。また、アフターコロナを見据え、引き続きインバウンドの取り込みを目指すとともに、ターゲット地域をアジアの他に近年増加傾向のオセアニアやDMOのターゲットに合致する欧米等へ広げていく。国内需要については交流人口のほかに関係人口への対策も意識した掘り起しを図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	15	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	2 歴史文化施設・祭り入込数(延べ人数)				
KPI(指標)の考え方	市ならではの歴史文化・祭り等を市内外の方の見学・体験につなげるよう、7.9%増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人	40,800人
実績値	30,824人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	75.5%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほぼ全てのイベントが中止となり、観光客数の減少に比例する形で施設来場者は減少したものの、7月には伊勢堂岱遺跡の世界文化遺産登録の効果により遺跡及び縄文館への来場者は増加しているが、全体としては75.5%であった。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止が相次ぎ入込数は苦戦したが、伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録効果もあり下支えとなった。継続した誘客促進や話題提供が必要なほか、近年好まれる参加型や体験希望者への対応が課題		
今後の方向性(取組)	アフターコロナを見据え、歴史文化といった北秋田市ならではの見学・体験者の増加と満足度向上に繋げるため、積極的な誘客PRを図るとともに、ガイドやガイドンス設備の充実に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	16	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	3 北秋田市宿泊施設売上推計額(推定単価×宿泊者数)				
KPI(指標)の考え方	限られた宿泊許容量の中で滞留促進とサービス向上につなげるよう、1.3%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	465百万円	465百万円	465百万円	465百万円	465百万円
実績値	387百万円	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	83.2%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による観光客数の減少に比例する形で宿泊客も減少し、売上推計実績額についても目標値の83.2%であった。前年度比(宿泊客数)では、外国人客が15.5%、県外客が111%、県の県民割キャンペーンや市のおもてなし宿泊助成など、県内宿泊に関する助成もあり、県内客が122.8%と増加し、全体として116.5%となった。		
取組の評価・分析・課題	宿泊客数については、前年比から増加傾向にあるが、コロナ前までに回復するには至っていない。		
今後の方向性(取組)	当市での宿泊許容量は決して多くないが、北秋田市ならではの景色、文化、体験、食などを合わせて提供することで滞在時間の増加と宿泊単価の向上を図っていく。また、既存のアクティビティ提供事業者との連携を高めていくほか、新たなプレーヤーの育成にも取り組み、多様なニーズに応えられるような体制づくりにも取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	17	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	4 訪日外国人宿泊客数(延べ宿泊者数)				
KPI(指標)の考え方	広域連携によるインバウンド等の誘客と滞在型観光により、219.9%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3,100人	3,100人	3,100人	3,100人	3,100人
実績値	10人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	0.3%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限の影響により達成は不可能であった。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、適切な判断に努める。		
今後の方向性(取組)	アフターコロナを見据え、DMOと広域連携を図り情報共有に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	18	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課観光振興係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-4 観光・レクリエーションの振興
KPI(指標)	5 道の駅等売上推計額(推定単価×利用者数)				
KPI(指標)の考え方	交流人口と消費動向を推計する指標(3.5%増加:405,000人×@720)とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	292百万円	292百万円	292百万円	292百万円	292百万円
実績値	141百万円	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D:取組の改善が必要	進捗・達成率(R3年度)	48.3%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、観光客の減少により消費額も減少した。また、「道の駅あに」においては販売スペースの改修を実施したほか、「四季美館」においても観光案内機能の向上と照明更新を行い、受入機能の向上を図った。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、観光客の減少により消費額も減少した。		
今後の方向性(取組)	地域観光のゲートウェイとしての機能向上と、魅力ある地域製品の提供を図ることにより、交流人口の拡大を目指す。また、類似商品との差別化を進めつつ、消費単価の向上も図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	19	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	2 資格取得支援助成金活用による資格取得者数				
KPI(指標)の考え方	求職者の就業支援及び事業所における雇用の安定を以って市内への定住を促進することを目標とした。(年1人の増加として現状を維持)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48人	49人	50人	51人	52人
実績値	48人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	ホームページや広報紙のほか、企業訪問時にも制度の周知を行い、幅広く市内の企業及び求職者への支援ができた。しかし、令和2年度に高校生を対象から外したことも影響し目標は達成できていない。		
取組の評価・分析・課題	市内企業については雇用維持や事業拡大を目的に活用されており、求職者については当該制度活用により就業に結びついている。		
今後の方向性(取組)	年度内において、一人につき1回(一資格)請求できる支援制度となっているが、企業業種によっては複数の資格が必要な作業(大型特殊自動車とけん引自動車等)があることから、複数の資格を申請できる制度にすることで企業の生産性向上に繋げる。また、求職者や移住・定住者に対し更なる周知を図り、制度を活用した資格取得によるスキルアップが地元就業へ繋がるよう支援する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	高校生の利用について、地元就業とは関連性が低いとため令和2年度から適用から除外している。それを加味した目標値の変更とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	20	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	3 増設事業所数【平成28年度以降の累計】				
KPI(指標)の考え方	市内工場等への設備投資について、前期では年1件としたが2年間で1件を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5件	5件	6件	6件	7件
実績値	7件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	140.0%
取組の内容と達成状況	毎年、定期的な企業訪問による情報収集に努め、増設と設備投資を促すため各助成事業等の紹介を行い産業の活性化を図っている。今年度はコロナ禍の影響から本社や親会社への訪問はしていないが、市内企業の訪問を実施しており、目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	コロナ禍による世界的な経済活動の縮小により、地域経済はかつてないほどの落ち込みを経験したが、誘致企業の生産計画に基づく事業拡大に合わせ、市工業振興促進条例及び県助成事業等の利用をPRし積極的に活用していただいた。		
今後の方向性(取組)	引き続き、情報収集などきめ細かいフォローアップと懇談会を通じて各種助成事業等制度の紹介を図ることで事業拡大に繋がるよう支援する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	21	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり			施策	1-5 工業の振興
KPI(指標)	4 新規進出事業所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	前期計画における実績が3事業所であったことを踏まえ、同程度の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	4事業所	4事業所	5事業所	5事業所	6事業所
実績値	4事業所	—	—	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	コロナ禍により、例年実施していた秋田県企業誘致推進協議会主催のリッチセミナーは実施していないが、企業誘致の広告掲載の成果もあり、以前から折衝していた企業の進出があり目標は達成している。		
取組の評価・分析・課題	この地域の実情にあった(小規模席数、日中勤務、土日祝休み)コールセンターの誘致であったこと、また、在宅コールセンターへシフトできる形態となり、特に子育て世代の就業に適した。		
今後の方向性(取組)	今後も大量の人材確保が必要とならない地域事情に合った企業(IT関連、デジタルコンテンツ、アウトソーシングなど)の誘致に取り組むことに加えて、地域課題の課題解決や実証事業を通じた関係構築が可能となるスタートアップ企業やベンチャー企業のサテライトオフィス誘致をすすめていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	22	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	数値目標
KPI(指標)	I 行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】				
KPI(指標)の考え方	年間40世帯50人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	203世帯260人	243世帯310人	283世帯360人	323世帯410人	363世帯460人
実績値	212世帯296人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	113.8%
取組の内容と達成状況	きたあきた暮らしの魅力と移住施策のPR活動、移住希望者との接点づくり、農林業や観光を入口とした移住体験(オンラインツアー含む)、移住相談(オンライン相談含む)のワンストップ対応、移住施策の奨励と創造、移住コーディネーターの活用、移住者支援のネットワークづくり、中高生に対する市内就職・Uターンの意識の高揚、移住希望者の就業支援と地場産業の活性化などにより、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	移住相談や移住体験等の移住施策について、オンライン化を推進したことにより、コロナ禍においても移住希望者の移住に対するモチベーションを保ちながら、移住に繋げることで、目標値を上回った。		
今後の方向性(取組)	現施策を継続しながら、コロナ禍により体得したオンライン化を効果的に推進し、将来的な移住につながる関係人口の創出にも取り組みながら、さらなる移住者数の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	KPI(指標)を「令和3年度以降の累計」としているが実際には第1期総合戦略・総合計画前期基本計画推進期間が始まった「平成27年度以降の累計」であるため「行政が窓口となった年間移住者数【平成27年度以降の累計】」とする。※指標の考え方にある増加目標(年間40世帯50人)は令和3年度~7年度で新たに設定したものである。
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	23	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	2 移住定住相談者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間150人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	657人	807人	957人	1,107人	1,257人
実績値	584人	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	88.9%
取組の内容と達成状況	ホームページやSNS、情報誌などの効果的な媒体を活用した移住施策PRや、移住イベント等でのきたあきた暮らしの情報発信、移住コーディネーターによる移住者目線での相談対応、オンラインを活用した相談体制の構築などにより、概ね目標に近づくことができた。		
取組の評価・分析・課題	首都圏から地方へ移住する機運が高まっている中、移住コーディネーターを多数配置(5人)し、隊員個々の活動や暮らしを通して感じている市の魅力発信や、LINE・Zoomによるオンラインでの相談体制を構築したことにより、コロナ禍ではあるが目標値に近づくことができた。年末年始期間限定の市内及び首都圏での移住相談会の再開により対面相談の機会が持てた。		
今後の方向性(取組)	首都圏在住者の北秋田市に関連する行動データを基にしたLINE及びYouTube配信を活用して、各種移住支援制度利用者からのコメント掲載や世界へ向けての発信として外国語版も検討するなど、効果的な魅力発信により、さらなる相談者の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	24	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	3 体験移住参加者数【累計】(ツアー参加者、オンラインツアー参加者含む)				
KPI(指標)の考え方	年間60人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	286人	346人	406人	466人	526人
実績値	367人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	128.3%
取組の内容と達成状況	移住体験メニューの年次拡充、移住体験住宅の整備、移住コーディネーターによる体験期間中のきめ細やかなアテンド、オンラインツアーの実施などにより、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	コロナ禍により、県外往来が制限されたため、リアルでの体験移住者数は減少したが、北秋田市を身近に感じてもらえるようオンラインによるイベントを実施したことにより、目標値を上回った。		
今後の方向性(取組)	多拠点居住を視野も入れ、移住体験メニューの年次拡充を図るとともに、コロナ禍においても移住の意志を醸成するため、本市に訪れなくても効果的にきたあきた暮らしを体験できるよう、移住体験のオンライン化を促進する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	25	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-1 移住定住の促進
KPI(指標)	4 移住定住情報提供者登録者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間50人を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	223人	273人	323人	373人	423人
実績値	255人	—	—	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	114.3%
取組の内容と達成状況	ホームページやSNS、動画配信サービスなどの効果的な媒体を活用した移住施策のPRや、オンライン移住フェアの出展及び移住コーディネーターの多数配置(5人)によるきたあきた暮らしの多様な情報を発信したことにより、目標値を上回った。		
取組の評価・分析・課題	現施策を継続しながら、本市に興味を抱いてもらえるよう、LINEやYouTubeを活用して、各種移住支援制度利用者からのコメントを掲載するなど、効果的な魅力発信により、さらなる移住定住情報提供登録者数の増加を図る。特に、独自制動画YouTube「移住のススメ」は10万回再生を達成する等、当市の認知度を高め、興味関心を促した。		
今後の方向性(取組)	移住フェアやオンラインでの効果的なPRを継続しながら、秋田県やAターンサポートセンターとの連携を密にし、さらなる移住定住情報登録者数の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	26	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進			施策	2-2 地域間交流の推進
KPI(指標)	1 友好交流都市との交流事業数【累計】				
KPI(指標)の考え方	友好交流都市との取組を令和7年度までに10事業取り組むことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11事業	13事業	15事業	17事業	19事業
実績値	12事業	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	109.1%
取組の内容と達成状況	単年度で終了する交流事業ではなく、継続して行える交流事業をR7年度までに10事業取り組むことを目標として両市の交流窓口部署を中心に取組を行った。その結果、これまでの継続事業に新たに「森林整備に関する協定の締結」、「広報掲載」事業を実施している。		
取組の評価・分析・課題	コロナの影響はあったが、両市の各種イベントでのPRなど双方で提案をしあいながら可能な限り行うことができおり、良好に地域間交流を行えている。また、新たに始まった「広報掲載事業」では双方の観光資源や行政の取り組みなどを知ることができ刺激を受けている。		
今後の方向性(取組)	当初は行政主導であったものが民間主導で取り組もうとする動きが徐々に出てきているため、そのような動きをなお一層進めて行くとともに、行政でも新たな交流事業を検討していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	27	種別	総合戦略	担当部署	福祉課こども福祉係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	I 出生数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	93人	93人	93人	93人	93人
実績値	89人	—	—	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(R3年度)	95.7%
取組の内容と達成状況	若い年齢からの啓発や結婚に向けた支援、不妊治療に対する助成のほか、安心して出産・子育てできるよう仕事と家庭の両立のための支援や子育てに係る負担軽減や不安解消に向けた支援を行った。		
取組の評価・分析・課題	令和2年3月策定の第2期「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」等により、子ども・子育て支援事業に取り組んできたが出生数の向上にはつながらなかった。過去の実績値をみても人口減少は進み、出生数も毎年減少している。結果として歯止めをかけるための各施策が好転していない。		
今後の方向性(取組)	施策の分析に努めながら部署間の協力体制を強化するとともに、就労機会の確保や仕事と子育ての両立支援など、安心して産み・育てる環境の充実について、官民の関係機関が連携した包括的な取り組みを図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	28	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	数値目標
KPI(指標)	II 婚姻数【単年】				
KPI(指標)の考え方	現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	89組	89組	89組	89組	89組
実績値	57組	—	—	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C:達成できなかった	進捗・達成率(R3年度)	64.0%
取組の内容と達成状況	出会い・結婚支援制度を紹介するリーフレットを作成し、新成人・市内企業へのPRに活用。コロナ禍により独身男女が気軽に参加できる内容のオンラインイベントを実施し、出会いの機会を提供した。あきた結婚支援センター入会希望者への入会登録料全額助成制度、結婚生活応援金事業などにより、出会いの機会の充実や若者夫婦の定住を図ることができた。目標は達成できなかったものの、今後、各支援策が徐々に浸透していくことで多くの若者が出会いに目を向ける機会にしていきたい。		
取組の評価・分析・課題	あきた結婚支援センター入会希望者への入会登録料全額助成や結婚生活応援事業などを継続して実施したが、コロナ禍により、将来への生活不安やリアルでの出会い創出イベントの開催自粛(中止)による出会いの機会の減少等により、目標値を達成できなかった。		
今後の方向性(取組)	あきた結婚支援センターへの入会登録料助成や結婚生活応援金事業の継続と新規助成制度を制定して臨む。結婚コーディネーターの活動によりオンラインやSNSなど多様で効果的な相談窓口を確立するとともに、市内企業を対象としたアンケート調査により求められている支援制度やイベント内容を把握し、支援制度の検討やオンラインも含めたコロナ禍における婚活イベントの開催とカップル成立後のフォローアップを行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	29	種別	総合戦略	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	2 出生数に占める低出生体重児の割合				
KPI(指標)の考え方	低体重児(2,500g未満)、出生数に対する率について、県と市で年により変動があるため、5年間の平均値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%
実績値	9.0%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	77.8%
取組の内容と達成状況	妊娠届出を妊娠12週までに申請するよう周知し、妊娠早期から妊婦健診を通して健康管理に努めるよう指導した。また、喫煙や受動喫煙、飲酒、長時間労働等、早産のリスク要因がある方には生活習慣の見直し等の指導を個別に合わせて実施した。		
取組の評価・分析・課題	2,000~2,500g未満が7件、1,500~2,000g未満が1件で、順調に経過しているお子さんが多いが、合併症のため治療中の方もいる。低出生体重児で生まれる原因は様々であるが、妊婦健康診査の費用助成、マタニティ教室の実施を通して妊娠中の健康管理、保健指導に努める必要がある。		
今後の方向性(取組)	継続して妊娠中の健康管理保健指導を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	30	種別	総合戦略	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	3 子育て中の母の気持ちや体調が良い割合				
KPI(指標)の考え方	乳幼児健診アンケートにおいて、現状よりもおよそ10.0%の向上を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%	82.0%
実績値	77.1%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	94.0%
取組の内容と達成状況	母子手帳交付時や、マタニティ教室、妊娠34週以降の電話支援等、妊娠中からの相談支援の充実を図った。出生後は、赤ちゃん訪問や、乳幼児健診・相談、育児サークル等の場を通じ、子育て中の不安が軽減するように、母親の支援に努めた。		
取組の評価・分析・課題	体調がよくないと答えた割合は1.8%で、毎年約2.0%おり、母親自身が疾患を抱えている方や育児疲れを訴える方が多い。良いと答える割合は70%以上を推移している。新型コロナウイルスの影響で、中止や縮小して実施している事業もあるが、母親が相談しやすい体制を整えながら、事業を実施していく必要がある。		
今後の方向性(取組)	子育て世代包括支援センター「ココロン」を拠点に、妊娠中からの切れ目のない支援を行い育児不安の軽減、母親の支援に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	31	種別	総合戦略	担当部署	福祉課こども福祉係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	4 子育てに関して気軽に相談できる人がいる保護者の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てに関して気軽に相談できる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%
実績値	64.2%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	98.8%
取組の内容と達成状況	地域子育て支援センターや乳幼児健診、子育て世代包括支援センターでの子育て相談業務の充実を図った。親支援講座の実施により、子育てに係る心身の負担軽減と不安解消に努めた。		
取組の評価・分析・課題	「相談できる人かいる」と回答した人が過去5年で最高値となっており、単年度目標は達成できなかったものの、概ね順調に取組の成果が表れている。		
今後の方向性(取組)	目標達成に向けて関係機関と連携を強化し、更なる相談体制の向上に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	32	種別	総合戦略	担当部署	福祉課こども福祉係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
KPI(指標)	5 子育てしやすいまちだと答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	子育てしやすい環境を整備することで、子育てしやすいまちだと感じる人を増やすことを目標とした。(※市民意識調査)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	66.7%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	88.9%
取組の内容と達成状況	待機児童や子どもの貧困、児童虐待などの社会環境の変化を踏まえ、地域の実状に対応しながら子ども・子育てに関する各種施策や事業を展開した。		
取組の評価・分析・課題	令和2年3月策定の第2期「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」等により子ども・子育て支援事業に取り組んできた。単年度では目標達成できなかったものの、概ね順調に取組の成果が表れている。		
今後の方向性(取組)	実績値が順調に伸びており、これまでの取り組みが成果として表れている。今後も実状に対応した施策の展開に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	33	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	1 市の審議会、委員会等の女性参画率				
KPI(指標)の考え方	将来的に女性委員が各定数の半数となることを目標に、期間中に3.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	27.0%	27.5%	28.0%	28.5%	28.7%
実績値	27.2%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	100.7%
取組の内容と達成状況	庁舎内の体制確立を図るため、北秋田市男女共同参画推進協議会設置要綱を策定した。		
取組の評価・分析・課題	年によって多少の増減があるものの、長期的には微増で推移している状況にある。社会変化等も考慮しながら啓発の推進を図る必要がある。		
今後の方向性(取組)	各種委員会等における改選期に女性登用を図るよう担当部署に働きかけるなど男女共同参画計画を推進する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	34	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	2 市役所における女性管理職員の割合(各年度4月1日現在)				
KPI(指標)の考え方	第3次行財政改革大綱実行プラン及び現在の職員構成状況を鑑み、主幹級以上の職員を管理職として目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	21.3%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	71.0%
取組の内容と達成状況	係長相当職が約30%、部長課長相当職への登用が10%程度である。係長相当職は目標に達成している。		
取組の評価・分析・課題	女性の活躍促進のため積極的な登用に努めている。部長課長相当職への登用率の向上に向け、環境づくりや職員の意識改革、人材育成が課題となる。		
今後の方向性(取組)	女性の活躍促進を目的とした研修会への積極的参加の推奨。管理職の年代が子育て、介護の時期と重なることから、ライフイベントと職務職責を考慮し、より働きやすい職場環境づくりと人材育成の取り組みが必要。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	男女共同参画等各種調査の基準日が4月1日であり整合性を図るため指標に「各年度4月1日現在」と表記する。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	35	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	3 男性の家事・介護・看護・育児にかかる時間数の割合				
KPI(指標)の考え方	男性の育児等にかかる時間数の増加を目標とした。当面は総務省社会生活基本調査の秋田県実績より算定するが、市民意識調査の調査項目として追加し、市の数値を把握することとする				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	24.6%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	82.0%
取組の内容と達成状況	男女共同参画社会づくり講座の開催や、広報等による意識啓発を行っているが、令和2年度における市民意識調査の実績値は26.93%であることから、若干の後退が見受けられる。		
取組の評価・分析・課題	男女共同参画社会づくり講座参加者は、概ね好評価であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大時期でもあることから、平常時の数値とは若干乖離があるものと思われる。		
今後の方向性(取組)	男女共同参画社会づくり講座の開催、広報等による啓発を継続して行うこととするが、講座については参加者が固定化気味であると思われるので開催方法などを検討する必要がある。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	36	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	4 市役所における男性職員の育児等に伴う休暇の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	男性職員の育児に伴う休暇制度の周知を図り、対象となる男性職員が育児に伴う休暇を取得しやすい職場環境を目指すこととして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	50.0%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	50.0%
取組の内容と達成状況	行政一般職対象職員については、概ね100%取得している。消防職等、シフト勤務の職員については、上司、同僚の理解や協力もあり可能な限り取得している。		
取組の評価・分析・課題	一般行政職においては、休暇制度の理解が得られ取得しやすい環境にある。消防職等シフト勤務や現場が多い職種についても制度の認識、職場の理解はあるが、100%取得は難しい。		
今後の方向性(取組)	引き続き制度の周知と、対象職員に個別に対応し詳細な制度説明と、より柔軟に取得できるよう検討していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	37	種別	総合戦略	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進			施策	3-2 男女共同参画社会の実現
KPI(指標)	5 市役所における男性職員の育児休業の取得割合(取得職員/対象職員)				
KPI(指標)の考え方	令和元年以前、育児休業を取得する職員がほぼいなかったため、期間中に対象となる職員の半数が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を図ることとして目標値を定めた				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	21.4%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	42.8%
取組の内容と達成状況	行政職一般職対象職員については、概ね100%取得している。消防職等シフト勤務の職員については、連続する休暇の取得は難しい。		
取組の評価・分析・課題	制度の周知や情報提供により、上司や同僚の育休取得への理解が得られ、取得しやすい環境づくりに努めている。一般行政職については、男性職員の積極的な取得がみられるが、消防職等シフトや宿直勤務がある職場においては、人的余裕がないこともあり、現実的に取得は困難な状況にある。		
今後の方向性(取組)	引き続き制度の周知と、対象職員に個別に対応し詳細な制度説明と、より柔軟に取得できるよう検討していく。取得期間が概ね1か月程度である。育児休業制度が改正され、より柔軟に取得できる制度になった。制度の周知に努める必要がある。職員全体への周知と対象職員に対し詳細な制度説明に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	38	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	数値目標
KPI(指標)	I 地域が住みやすいという市民の割合【単年】				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%	78.5%
実績値	71.4%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	91.0%
取組の内容と達成状況	自治会館整備事業、防犯街灯設置費、環境整備事業、防犯街灯電気料、コミュニティ助成事業など各種支援を行い、自治会活動の活性化を図り、指標数値に改善がみられている。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営に支援を行っているが、少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になりつつある。		
今後の方向性(取組)	複数集落による協働など自治会活動の強化を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	39	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	2 活発に活動が行われている自治会(町内会)の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった合川地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%	74.5%
実績値	59.6%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	80.0%
取組の内容と達成状況	自治会館整備事業、防犯街灯設置費、環境整備事業、防犯街灯電気料、コミュニティ助成事業など各種支援を行い、自治会活動の活性化を図っているが、新型コロナウイルス感染症の拡大時期でもあり、自治会におけるイベント等が減少している。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営に支援を行っているが、少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になりつつある。		
今後の方向性(取組)	複数集落による協働など自治会活動の強化を図る。新型コロナウイルス感染症による指標数値の後退は、今後改善するとみられる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	40	種別	総合戦略	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-1 地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
KPI(指標)	3 地域活動に何か参加している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	63.7%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	84.9%
取組の内容と達成状況	自治会館整備事業、防犯街灯設置費、環境整備事業、防犯街灯電気料、コミュニティ助成事業など各種支援を行い、自治会活動の活性化を図っているが、新型コロナウイルス感染症の拡大時期でもあり、自治会におけるイベント等が減少している。		
取組の評価・分析・課題	自治会運営に支援を行っているが、少子高齢化や自治会未加入者の増加により、自治会運営が困難になりつつある。		
今後の方向性(取組)	複数集落による協働など自治会活動の強化を図る。新型コロナウイルス感染症による指標数値の後退は、今後改善するとみられる。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	41	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	1 県学習状況調査の質問肢「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	ふるさと・キャリア教育の推進により、すべての学年において県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-3.0% 北秋田市 49.9%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	94.2%
取組の内容と達成状況	「当てはまる」と回答した割合は、県平均全体の52.9%に対し市平均全体が49.9%と下まわり、学年別の状況については小6、中2の割合は県平均を上回ったものの、小4、小5、中1の割合が県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	市全体平均の「当てはまる」と「やや当てはまる」を含めた割合は90.4%であり、県全体平均と同じであった。		
今後の方向性(取組)	全国学力調査の結果から、地域の行事に参加している子どもの割合が全国平均(小学校26.6%、中学校16.3%)を上回っており(小学校52.9%、中学校20.2%)、今後も地域に根ざしたふるさと・キャリア教育の充実を図り、意識の醸成に繋げていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	当初の目標値を「県平均を上回る」としていたが、具体的な数値目標を設定することとし、県の平均値は毎年度変化することから、県平均の上乗せ分を目標値とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	42	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	2 県学習状況調査の質問肢「学校が楽しい」で「当てはまる」と答えた児童生徒の割合				
KPI(指標)の考え方	調査では、「当てはまる」を選んだ児童生徒が県平均より小で4.2%、中で7.7%少ないため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均-7.5% 北秋田市 55.3%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	87.9%
取組の内容と達成状況	「当てはまる」と回答した割合は、県平均全体の62.8%に対し市平均全体で55.3%と下まわり、学年別の状況については小6、中2の割合は県平均を上回ったものの、小4、小5、中1の割合が県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	県の「当てはまる」と「やや当てはまる」を含めた各学年ごとの割合は、小4から中2まで全て90%以上であった。しかし、市の各学年ごとの割合は、小5から中2までは90%前後であり、県の割合と近似していたが、小4の割合は82.6%と低い結果であった。		
今後の方向性(取組)	学校生活の様々な場面を通して児童生徒一人一人の自尊感情を高めるとともに、自己有用感を高めていくことが必要と考えられ、一人一人の子どもに寄り添った教育の充実を図りたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	当初の目標値を「県平均を上回る」としていたが、具体的な数値目標を設定することとし、県の平均値は毎年度変化することから、県平均の上乗せ分を目標値とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	43	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	3 県学習状況調査における正答率				
KPI(指標)の考え方	秋田県が全国学力・学習状況調査でトップレベルを継続している状況であり、学年によって正答率も異なるため、県平均を上回ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	県平均+0.1%	県平均+0.1%	県平均+0.2%	県平均+0.2%	県平均+0.3%
実績値	県平均±0.0% 北秋田市 67.9%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	99.9%
取組の内容と達成状況	県学習状況調査の正答率は、県平均全体の67.9%に対し、市平均全体が67.9%と同等だったが、学年別の状況については小5、小6は県平均を上回ったものの、小4、中1、中2の割合が県平均を下まわった。		
取組の評価・分析・課題	各教科ごとの正答率は、小6以外は県平均に比べ上下があるが、小6については全教科で県平均を上回った。		
今後の方向性(取組)	県学習状況調査の分析を基に、学校訪問時の指導内容を工夫していくと共に、教育センター事業を通して教職員の指導力の向上と授業改善に向けた取り組みを充実させていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	当初の目標値を「県平均を上回る」としていたが、具体的な数値目標を設定することとし、県の平均値は毎年度変化することから、県平均の上乗せ分を目標値とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	44	種別	総合戦略	担当部署	学校教育課義務教育係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-2 学校教育の充実
KPI(指標)	4 不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合				
KPI(指標)の考え方	不登校児童生徒一人一人の特性に合わせて関係機関と連携することで学校復帰につなげるための目標設定とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
実績値	34.6%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	49.4%
取組の内容と達成状況	不登校児童生徒のうち、保健室登校やステップルーム登校などの児童生徒もいるため、リフレッシュ学園やさわやか教室の利用は低いものとなっている。		
取組の評価・分析・課題	子どもたちの個々の状況に合わせた不登校対策に取り組んだ結果と捉えている。		
今後の方向性(取組)	不登校対策の選択肢の一つとして個々の子どもたち状況に合わせた対応とし、他の取組との併用も行いながら学校への復帰を促していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	45	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	1 公民館講座・高齢者大学・図書館等の利用者の満足度調査(コムコム含む)				
KPI(指標)の考え方	新たに共通様式で満足度調査を実施し、満足度90.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	84.5%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	93.9%
取組の内容と達成状況	地域の特性を生かし市内4地区での高齢者大学開校や市内11公民館と市民ふれあいプラザでの公民館講座開設、図書館及び図書室では読書を通じた学習活動の推進を行っているが、R3年度末に新型コロナウイルス感染症が拡大したため、事業評価のアンケートをほぼ実施できず、事業評価として一部意見となってしまった。		
取組の評価・分析・課題	公民館講座で実施できたアンケートは、「障がい者の生涯学習」事業で参加意欲がある受講生が多く満足度が高かった(100%)。逆に高齢者大学は、生涯学習活動への要望が大きいため様々な意見をいただき、事業活動の参考としている(69%)。図書館事業では、アンケートを実施することができなかった。		
今後の方向性(取組)	R4年度は、各事業で様々な機会にアンケートを実施して事業の参考や改善に繋げていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	46	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	2 自主講座への移行数【R3~R7年度毎の移行数の合計】				
KPI(指標)の考え方	自主講座へ移行することで、主体的に生涯学習活動に携わることとなるため、年間1講座の増加とし累計で5件の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24講座	25講座	26講座	27講座	28講座
実績値	23講座	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	95.8%
取組の内容と達成状況	各公民館において地域の特色を活かした講座を展開し、新たな受講者が参加しやすい公民館事業を試みているが、自主サークルとして活動していく「自立化」までの意識づけには至らず、目標としている数値には届かなかった。		
取組の評価・分析・課題	生涯学習や市民活動を促進するため高齢者大学事業や様々な公民館講座の企画・運営、施設使用料減免措置による活動促進と支援、文化祭や生涯学習フェスタなど発表の場を提供し、学びの楽しさと自立した活動を促している。		
今後の方向性(取組)	専門知識を有する職員(社会教育主事)の養成と配置の推進を行い、魅力ある講座開設はもちろん、学んだ成果を地域で活用できるよう人材育成の体制づくりを目指していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	47	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	3 知識や教養、趣味等を主体的に学習する市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査で数値の低かった50代や70代以上をターゲットに学びを広げ、市全体で60.0%まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	63.5%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	105.8%
取組の内容と達成状況	公民館などにおける講座開設をはじめとした学びの場の提供、文化祭や生涯学習フェスタなど発表の場を設けることで、生きがいづくりや生涯学習の意識向上につながり意欲的な活動となっている。		
取組の評価・分析・課題	様々な年代のニーズ把握を心がけ、普段は公民館講座に参加しない方にも興味をもってもらえるよう工夫した企画を行っている。また、HPやSNSを活用した情報発信を行うなど若年層にも利用しやすい公民館(生涯学習)活動を心がけている。		
今後の方向性(取組)	市民意識調査の結果、主体的に学習する市民の割合は多くなったが、引き続き「学習を行っていない市民」に公民館講座や地域活動に参加してもらう「公民館の人づくり・つながりづくり」を行っていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	48	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	4 地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度調査				
KPI(指標)の考え方	学校と地域が一体となり将来の担い手を育成するため、事業内容の充実を図ることで(毎年)満足度90.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	100.0%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	111.1%
取組の内容と達成状況	地域学校協働活動推進員は、コーディネーターとして学校支援活動に携わり地域と学校の連携、地域ぐるみで子どもたちを育成する環境の基盤作りに協力できた。子どもを育成する地域学校協働活動の重要性について情報共有するとともに、地域の人材を活用した取組の体制を強化することができた。		
取組の評価・分析・課題	生徒と地域学校協働活動推進員等が参加し行った研修会のアンケートでは、学校や児童・生徒との関わりに意欲的な結果となり協働活動の重要性に理解が示されている。		
今後の方向性(取組)	地域全体で子どもたちを育むという目標にむけ、地域学校協働活動推進員の増員や研修会の開催など地域と学校の連携強化を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	49	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	5 北秋田市民ふれあいプラザ利用者数【延べ利用者数】				
KPI(指標)の考え方	講座メニューやPR方法を工夫することで、現在の利用者を64,400人まで増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	49,000人	53,000人	57,000人	61,000人	64,400人
実績値	48,140人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	98.2%
取組の内容と達成状況	様々な世代や団体に利用されている市民ふれあいプラザは、学びの拠点としての役割だけではなく、フリースペースを活用した地域活動や交流人口の場となるよう利用促進を図ってきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数は低迷している。		
取組の評価・分析・課題	新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ各種団体等の利用は少しずつ回復してきているが、コロナ以前の数値には戻っていない。引き続き、自主サークルへの活動支援(使用料減免等)を図るとともに、チャレンジブースやねまーる広場の環境整備を行うなど施設の充実に取り組み、利用者の回復に繋げる。		
今後の方向性(取組)	コムコムは「憩い・交流・賑わい」拠点施設として様々な世代や団体に利用されており、その役割は達成できているが、今後はコムコムから市街地へ周遊する人の流れを作るため「にぎわいづくり委員会」などの意見を参考にしながら、コムコムを活用した賑わいづくりの取組を検討していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	50	種別	総合戦略	担当部署	生涯学習課生涯学習係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-3 生涯学習の充実
KPI(指標)	6 社会教育施設台帳の整備と、今後の管理計画書の作成				
KPI(指標)の考え方	共通様式により市内すべての公民館の台帳及び管理計画書を作成することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
実績値	0箇所	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(R3年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	現在は施設ごとに違う管理台帳を使用しており、統一した台帳で作成することで、管理の一元化を目指した。しかし、R3年度に様式の方向性を決定したが着手まで至らなかった。		
取組の評価・分析・課題	様式の方向性を決定したが、人事異動で担当が変わるなど新たな意見がでており、見直しを進めたため着手が遅れている。		
今後の方向性(取組)	R4年度には様式を決定し、R5年度以降の管理に役立てたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	51	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	1 公営住宅等のバリアフリー化の割合【累計】				
KPI(指標)の考え方	建替計画及び既存住宅改修計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	85.0%	85.0%	86.0%	87.0%
実績値	52.9%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	63.0%
取組の内容と達成状況	住宅の建替えにあたっては、全てバリアフリーとしている。		
取組の評価・分析・課題	計画的に進めているが、建替えについては、社会資本整備総合交付金を主な財源とし整備を行っているため、交付率が事業の進捗に大きく影響する。		
今後の方向性(取組)	長寿命化計画に基づき、効率的な団地集約も図りながら建替えを進め、バリアフリー化の向上を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	52	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	2 公営住宅等の入居率(入居戸数/全戸数)【累計】				
KPI(指標)の考え方	政策的空家を除いた509戸を管理基準として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%	90.6%
実績値	82.6%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	98.3%
取組の内容と達成状況	入居希望者に住宅を提供できるよう、また、入居者にも不便をかけないよう住宅の維持管理を行った。		
取組の評価・分析・課題	R3の行政評価では、82.6%の入居率について妥当の評価をいただいている。		
今後の方向性(取組)	効率的な団地集約を図りつつも、住宅困窮者や被災した方への住居を確保していく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	53	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	3 特定空家等に認定した家屋のうち、通知3年以内に解体された割合				
KPI(指標)の考え方	危険家屋状態から早期に回避するため、解体割合90.0%以上を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
実績値	87.5%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	認定された特定空家等所有者に対し、適正な管理を指導した結果解体に至っており、周辺住民の生活環境の保全促進に努めた。		
取組の評価・分析・課題	金銭的理由で対応いただけないケースや、相続放棄および相続登記未了のケースもあるため、解決に時間を要するのが課題である。		
今後の方向性(取組)	特定空家のみならず、将来特定空家になることが予見される空家等も含め、所有者等に対し適正な管理の呼びかけを行っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	54	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	4 住宅耐震化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	北秋田市耐震改修促進計画に基づき目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67.0%	67.0%	67.0%	69.0%	71.0%
実績値	64.4%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	96.1%
取組の内容と達成状況	一般住宅の安全性の向上を目指し、耐震診断支援事業、耐震改修計画補助事業、耐震改修補助事業を行った。		
取組の評価・分析・課題	市内全体の住宅の耐震化率については、5年に一度の住宅・土地統計調査(次回令和5年度)に基づき算出している。令和3年度実績については耐震改修促進計画(第3期計画)から引用する。※H30住宅・土地統計調査からの推計値。		
今後の方向性(取組)	引き続き、耐震事業を進めていくが、併せて耐震支援事業のPRも行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	目標値が第2次総合戦略の策定時と同時期に「耐震改修促進計画(第3期計画)(令和3年3月)」が策定されたため、令和2年度時点では耐震改修促進計画(第2期計画)に基づいて設定されていた。そのため、第3期計画に基づいて目標値を修正する。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	市内全体の住宅の耐震化率については、5年に一度の住宅・土地統計調査(次回令和5年度)に基づき算出しているため、R5年度実績は推計値(R2年度実績値)を記載する。		
----	--	--	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	55	種別	総合戦略	担当部署	都市計画課都市計画住宅係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	5 地域による管理が行われている公園箇所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	規模的に可能と思われる公園を設定し、同意を得られそうな公園1か所を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
実績値	2箇所	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	66.7%
取組の内容と達成状況	令和2年度に、地元自治会との協議が不調に終わったため再検討の時間を持った。		
取組の評価・分析・課題	どのような形での管理委託が適切であるか再度検討が必要。		
今後の方向性(取組)	地域と相談しながら慎重に進めたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	56	種別	総合戦略	担当部署	財政課地籍調査室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-4 住環境の整備
KPI(指標)	6 全体計画の調査面積に対する実施済面積の割合				
KPI(指標)の考え方	国土調査事業第7次十箇年計画期間中(R2~11)に完了させるため目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	45.0%	50.0%	59.0%	63.0%	76.0%
実績値	45.0%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	鷹巣地区市街地の調査を行っており、概ね計画通り進んでいる。		
取組の評価・分析・課題	市街地の地籍調査を進めるにあたり土地所有者の高齢化により現地立会いが難しいケースや、空き屋で所有者と連絡を取るまで苦勞するなどのケースが多くなって来ている。住民の協力を得ながら粘り強く進める必要がある。また、計画している地区以外でも未調査の土地がある可能性があるため、その洗い出しが必要である。		
今後の方向性(取組)	現在の鷹巣地区市街地の地籍調査を計画通りに進めるとともに、計画している地区以外でも未調査の土地がないか洗い出しを行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	57	種別	総合戦略	担当部署	建設課管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	1 自宅の除雪について特に困っていない市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査の回答割合の高い鷹巣地区や合川地区の水準、並びに前期基本計画の目標値を参考に設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%	25.8%
実績値	20.8%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	80.6%
取組の内容と達成状況	降雪量等の気象状況により市民の意識が変化する内容ではあるが、除雪機械等の計画的更新及び、自治会要望等を勘案した路線の見直しにより、効率的な除排雪とオペレータの技術向上に努めており、概ね順調である。		
取組の評価・分析・課題	社会情勢の変化による資材不足や高騰が除雪機械の納期にも影響しており、老朽化した車両の使用を余儀なくされている状況である。新規採用のオペレータについては、事前練習を行うなど技術向上に向けた取り組みも実施しており、この成果は今後繋がるものと考えている。		
今後の方向性(取組)	今後も計画に基づいた除雪機械の更新と、オペレータの技術向上により、きめ細やかな道路除排雪に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	58	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	2 自治会や近所の人と協力して(間口や)道路、歩道、自治会館やごみ集積所等の除雪作業を行っている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高かった男性の水準を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%	48.6%
実績値	35.1%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	72.2%
取組の内容と達成状況	年明け以降の降雪量増加に伴い、各年代とも協力率が増加したことにより、全体として数値は増加している。阿仁地区が55.6%と最も高く、鷹巣地区は28.1%で地区による差が大きい結果となったが、高齢化の進展に伴い、共助による除排雪作業が難しい状況に近づいていると思われる。		
取組の評価・分析・課題	60歳代以上の協力率が依然として高いものの、若年層でも増加が見られ、地域全体としての共助活動が見られる結果となった。今後も共助意識の高揚と高齢化の進展に伴う世代交代の進展が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域での活動や高齢者の冬期間在宅生活を支援する「福祉の雪事業」等を含め、自治会組織及び民生委員説明会等において「地域での共助・担い手探し」への協力を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	59	種別	総合戦略	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-5 雪対策の充実
KPI(指標)	3 福祉の雪事業の担い手として事業者登録をしている自治会の数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度実績に毎年1団体ずつの増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	7団体	8団体	9団体	10団体	11団体
実績値	5団体	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	71.4%
取組の内容と達成状況	自治会組織等へ「事業者登録」の依頼を実施しているものの、高齢化の進展等を起因とするマンパワー不足により、新たな登録をする自治会組織はなかった。		
取組の評価・分析・課題	自治会組織としての活動団体数を維持しているものの、高齢化の進展等によりマンパワー不足により団体としての活動が難しくなっており、組織活動維持が課題である。		
今後の方向性(取組)	高齢者の冬期間の在宅生活を支援する「福祉の雪事業」の推進にあたり、自治会組織へ「事業者登録」の依頼及び民生委員説明会等において「地域の担い手探し」へ協力を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	60	種別	総合戦略	担当部署	内陸線再生支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	1 秋田内陸線の乗車人数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度現状値までの回復を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	264,000人	264,000人	264,000人	264,000人	264,000人
実績値	177,192人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	67.1%
取組の内容と達成状況	平成29年度から増加を続けていた定期外の乗客が令和元年度には155,642人まで増加したが令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により約半数に激減した。特にここ数年、定期外の乗客を押し上げてきたインバウンドの団体が令和2・3年度、皆無となっている。		
取組の評価・分析・課題	県や仙北市と協調し、観光列車「秋田マタギ号」の改修、「貸切列車半額」「フリーキップやギフト回数券の割引」などのキャンペーンを実施し、一定の効果は得たが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標達成には届かなかった。感染症の影響を受けない乗車促進策が課題である。		
今後の方向性(取組)	乗車人数を令和7年度までには、新型コロナウイルスの影響が少なかった令和元年度の概ね264,000人までの回復を目標に、秋田県、仙北市、沿線の支援団体と連携し利用促進への取組を強化するとともに、継続している高校生通学定期券補助事業の対象高校生等の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	61	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	2 路線バス・デマンド型乗合タクシーの輸送人員数				
KPI(指標)の考え方	鷹巣線の減少(スクールバス化:吉野学園△7,300人)を踏まえた現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人	131,000人
実績値	122,254人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	93.3%
取組の内容と達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利便増進実施計画に基づき市内全域を対象とした持続可能な交通体系実現に向けた取り組みを検討した。・路線再編は見送ったが、市内路線図及び時刻表(A2拡大版)の内容を更新し作成、市内主要施設(駅、病院、ショッピングセンター、銀行、郵便局、市有施設等)へ掲示及びバスマップ等を配布し、新たな利用者掘り起しを行った。・新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響により利用者減少となった 		
取組の評価・分析・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域の人口減少の進行に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響により利用者減少となったが、市民病院通院路線は、通院手段として沿線住民に認知され定着した結果、利用者が増加傾向にある。 		
今後の方向性(取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に市地域公共交通計画の計画期間が満了する。新たな計画では主要な公共道路網の維持・確保に努めながら、少子高齢化や人口減少をはじめとする社会環境変化により、顕著な変化が進む交通需要に合わせて公共交通システムを見直すなど、今後とも市民の理解を得た上で公共交通合理化施策を進め、公共交通事業者及び行政の負担軽減を盛り込み、取組を展開する。 		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	62	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-6 公共交通の維持・確保
KPI(指標)	3 大館能代空港利用者数				
KPI(指標)の考え方	3 便化政策コンテストにおいて目指した数値(1年後ろ倒し)を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	207,740人	219,020人	222,404人	225,600人	233,000人
実績値	45,346人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	21.8%
取組の内容と達成状況	・利用促進協議会と連携した各事業(圏域の翼、企業ファンクラブ)、冬期間の利用促進助成金による利用者支援を実施したが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発令され、利用客が大幅に減少した。		
取組の評価・分析・課題	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発令されるなど、首都圏への移動制限により利用客が大幅に減少し追加配分となった2便目が運休となった。・利用者回復のための各種補助事業などの取組を行ったが効果は少なかった。コロナの収束が見通せない中で搭乗率を上げるためにどのような取組が出来るのかが課題である。		
今後の方向性(取組)	・利用者数を新型コロナウイルス発生前の水準に戻して、3便化の継続に向けた取組として県や利用促進協議会等と連携を図りながら、PR活動、チャーター便利用促進への取組を展開する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	63	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	1 災害に備えて何かしら準備をしている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%	68.4%
実績値	58.2%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	85.1%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知に取組んだ。		
取組の評価・分析・課題	大きな改善は見られていない。日頃からの準備、点検等に対する意識の高揚が課題である。		
今後の方向性(取組)	これまでの取組みを継続実施するほか、自主防災組織等を通じた周知にも努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	64	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	2 防災情報メール登録者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	効率のよい市の情報を取得する手段として登録いただくよう、毎年100人の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,845人	1,945人	2,045人	2,145人	2,245人
実績値	1,731人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知にも取組み、登録者数49名の増加につなげた。		
取組の評価・分析・課題	目標である年間100名の登録者数増加には至っていないが、着実に増加してきている。親元を離れて暮らす市外在住者等向けの対策が課題である。		
今後の方向性(取組)	これまでの取組みを継続実施するほか、Yahoo!Japanを通じた地域情報の発信に努め、登録者数の拡大を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	65	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	3 自主防災組織の結成数【累計】				
KPI(指標)の考え方	年間3団体の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	48 団体	51 団体	54 団体	57 団体	60 団体
実績値	45 団体	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知にも取組み、2組織の新規結成となった。		
取組の評価・分析・課題	目標である年間3組織の新規結成には至っていないが、既存組織の活動支援や、資機材整備支援等による新規結成組織の育成拡大につなげることができた。		
今後の方向性(取組)	消防との連携を図り、地域住民による「共助」の取組強化を図る。また、新規結成に向けた支援のほか、既存の組織についても継続して活動支援を行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	66	種別	総合戦略	担当部署	総務課危機管理係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	4 防災ラジオ配布割合				
KPI(指標)の考え方	配布割合90.0%を目標とした。(※8,957世帯⇒11,325世帯(2,368世帯増加))				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%	90.1%
実績値	74.3%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	82.5%
取組の内容と達成状況	広報やHP等のほか、出前講座における周知に取組んだ。配付世帯数で63、配付率で1.2%の増加につなげた。		
取組の評価・分析・課題	配付世帯数および配付率で向上は図られつつも、特にアパート等居住者に対する周知が課題である。		
今後の方向性(取組)	ご遺族支援コーナーの活用も図り、未配付世帯に対する周知を図る。また、普及率が50%以下の自治会等に対し、再度周知を図りながら、普及促進に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	67	種別	総合戦略	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-7 地域防災体制の充実
KPI(指標)	5 河川環境の整備【累計】				
KPI(指標)の考え方	令和3年度から実施を予定している緊急浚渫推進事業計画(案)に基づき、目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	3河川	5河川	9河川	13河川	13河川
実績値	3河川	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	浚渫計画に沿って河川の堆積土砂除去を行っている。		
取組の評価・分析・課題	浚渫計画に基づき対応しているが、豪雨や融雪等により現場状況が変化しているため、その都度状況を見て対応していきたい。		
今後の方向性(取組)	浚渫計画に基づき、計画に掲載されている河川の堆積土砂を除去し、河川災害に対する未然防止に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	後期計画策定以降に新規浚渫河川が2河川増え、11河川から13河川に計画を変更したことにより、最終目標値を11河川から13河川に変更する。
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	68	種別	総合戦略	担当部署	商工観光課商工労働係
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI(指標)	1 北秋田市でテレワーク(ワーケーション)に取り組む経費を助成する件数(累計)				
KPI(指標)の考え方	県外の民間企業等が北秋田市で行うワーケーションに対し、県又は市が経費を助成する件数を令和3、4年度を年2件、令和5年度からは年4件として目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	4件	8件	12件	16件
実績値	0件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	令和元年度から誘致折衝していた企業が実施予定であったが、政府から不要不急の外出・移動の自粛を求められたことにより、令和3年度中は延期と判断したことから、目標は達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	北秋田市と事業を展開している事業者に対して、ワーケーションを勧めることにより、飲食・宿泊費用が発生し、地域経済の活性化に寄与することから、様々な課で実施できる取り組みであり、リピーターになることで関係人口の抄出に繋がる。		
今後の方向性(取組)	令和4年度より、本格的にテレワークやワーケーション拡大の施策を実施していく。また、令和5年度からは、県外の民間企業等が北秋田市で行うワーケーションに対し、経費の一部を助成する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	事業者を受け入れることが主体なのか、事業者が実施することが主体なのか不明瞭であり定義をはっきりさせるため、県外の民間企業や団体、企業等に所属する社員、個人事業主等が北秋田市で行うワーケーションに対し、県又は市がその経費を助成する件数を指標と、目標値を令和3、4年度を年2件、令和5年度以降は年4件として最終年度目標を累計16件と設定する。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	69	種別	総合戦略	担当部署	総合政策課移住定住支援室
基本戦略/基本理念	戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成			施策	4-8 新しい生活様式への対応
KPI(指標)	2 オンライン(リモート・SNS含む)での移住定住相談者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	オンライン(リモート・SNS含む)での移住定住相談者数を目標として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	45人	90人	135人	180人	225人
実績値	98人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	217.8%
取組の内容と達成状況	コロナ禍を踏まえ、ホームページやSNS、情報誌などの効果的な媒体を活用した移住施策PRや、移住イベント等でのきたあきた暮らしの情報発信、移住コーディネーターによる移住者目線での相談対応、オンラインを活用した相談体制の構築などにより、目標を達成することができた。		
取組の評価・分析・課題	首都圏から地方へ移住する機運が高まっている中、移住コーディネーターを多数配置(5人)し、隊員個々の活動や暮らしを通して感じている市の魅力発信や、LINE・Zoomによるオンラインでの相談体制を構築したことにより、目標値を達成することができた。実績98人のうち97人がLINEであることから、LINEは気軽に相談できる非常に有効なツールであることを再認識した。		
今後の方向性(取組)	首都圏在住者の北秋田市に関連する行動データを基にしたLINE及びYouTube配信を活用して、各種移住支援制度利用者からのコメント掲載や世界へ向けての発信として外国語版も検討するなど、効果的な魅力発信により、さらなる相談者の増加を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	70	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	1 市内の医療体制について整っており満足している市民の割合				
KPI(指標)の考え方	前期計画期間の調査結果は60.0%前後で推移し、目標値未達であることから、引き続き前期と同じ目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%	63.0%
実績値	56.8%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	90.2%
取組の内容と達成状況	市内医療機関等と連携し年間を通して夜間初期救急医療を実施したほか、在宅医療の要である訪問看護サービス事業者に対し運営費の支援を行い遠隔地利用者へ安定したサービスの提供を行うなど、地域医療提供体制の確保に取り組んだ。また、一次医療確保対策として地域医療確保促進事業補助金制度を継続し、市内2医療機関において診療機器の整備が図られた。		
取組の評価・分析・課題	初期救急医療体制の確保、訪問看護体制の強化及び一次医療提供体制に対する補助により、安心安全な医療サービスを確保することができた。一方で、目標未達を受け、更なる医療提供体制の充実に向けた取組みを進める必要がある。		
今後の方向性(取組)	人口減少や高齢化の進展、また、生活圏域が広く山間地域が多い当市の状況において、従前の取組みに加え、医療提供体制の充実にむけた医療DXや医療マース車両導入の可能性を探る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	71	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	2 市民病院の常勤医師数(※非常勤医師等数を含む常勤医師換算数)				
KPI(指標)の考え方	秋田県医師確保計画における北秋田医療圏の目標医師計画値を基準とし、地域の中核病院として、より充実した医療サービスを提供するための医師数を目標数値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人	24.0人
実績値	23.0人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	95.8%
取組の内容と達成状況	市民病院の医師充足率向上及び診療科偏在解消を目指し、指定管理者と連携して秋田大学医学部等への医師派遣要請を行い、充足率においては100%超の体制を維持することができた。		
取組の評価・分析・課題	指定管理者と連携した秋田大学医学部及び県に対する医師派遣の要請活動等や医師の定着に向けた常勤医師奨励金制度の実施により、長く課題であった医師充足率が平成30年度から100%を超える状況となり、診療体制の拡充が図られた。一方、常勤医のいない或いは不足している診療科が依然として存在する。		
今後の方向性(取組)	引き続き、指定管理者と連携し医師確保対策に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	72	種別	総合計画	担当部署	医療健康課地域医療対策室
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-1 地域医療の充実
KPI(指標)	3 北秋田市民病院満足度(職員の対応)				
KPI(指標)の考え方	病院職員の接客対応改善を図るため、これまでの調査結果における高い数値を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%
実績値	97.2%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	101.3%
取組の内容と達成状況	利用者満足度アンケート調査における高い水準を目指し、医師及び医療従事者の対応等接遇向上に取り組んだ結果、全体の満足度として97.2%の好結果となった。		
取組の評価・分析・課題	計画期間における医師及び医療従事者の対応についての利用者満足度アンケート調査結果は、何れも目標値を上回り県内の他の厚生連病院の平均値に近い状況で改善されてきている。また、待ち時間対策については、心理的な負担軽減として外来に診察の進捗状況が表示されるモニターを設置したほか、多くの診療科で予約制を導入し再来患者への診療予約を推進したことで、待ち時間の短縮が図られてきている。		
今後の方向性(取組)	市民病院の運営については、開設以来、指定管理者と運営連絡協議会を設置し、運営に関する課題等について協議し、改善に取り組んできている。今後も情報共有を図りながら利用者に快適な環境で医療サービスを提供できるよう連携し取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	73	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	1 検診受診率(特定検診)				
KPI(指標)の考え方	「第2期健康秋田21計画」より目標値を設定した。※第3期特定健康診査等実施計画は35.0%(R5)としている				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
実績値	36.7%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	91.8%
取組の内容と達成状況	集団健診の受診者数はコロナ前よりもやや減少したが、ハガキによる受診勧奨により個別医療機関方式での受診者が増加したことで全体の受診者数・受診率が増加した。		
取組の評価・分析・課題	ハガキの効果が見えている。被保険者のうち特に若い世代の受診率が低く、掘り起こしが必要。		
今後の方向性(取組)	受診率向上に向け、引き続き受診勧奨をおこなう。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	74	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	2 がん検診受診率(5 大がん検診受診率の平均、全対象に対する率)				
KPI(指標)の考え方	「第2期健康秋田21計画」の目標値は50.0%(R5)だが、受診率の算定方式が変更となり、「保険者努力義務支援評価基準」から25.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%	平均25.0%
実績値	平均9.1%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	36.4%
取組の内容と達成状況	コロナ禍において、感染対策を講じながら検診を実施することで、徐々に受診率が増加しており、前年比すべての検診において、受診率が増加した。令和3年度から個別医療機関方式による胃がん検診が開始となり、受診勧奨に努めたことで受診率増加につながった。		
取組の評価・分析・課題	前年比受診率の増加にはつながったが、特に若い世代の受診率は低い。若い世代が受診しやすいよう個別医療機関方式による受診や、無料クーポン券の発送、WEB予約の活用などにより、検診受診につなげていきたい。		
今後の方向性(取組)	検診の重要性について理解を深めてもらうようチラシや、HP等で周知を図り、受診につなげる。また、受診しやすい環境(個別医療機関方式の充実、WEB予約など)の整備に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	75	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	3 メタボリックシンドロームとその予備群の割合				
KPI(指標)の考え方	北秋田市健康宣言において10年間(R8)でメタボ予備群を10.0%以下に減らすと宣言していることから10.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
実績値	9.5%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	105.3%
取組の内容と達成状況	割合は減少している。例年該当する方もおり改善が見られない方も多い。		
取組の評価・分析・課題	特定健診受診率を上げて潜在している対象者を見つけ出す。対象になっても指導を受けない人もいるので、確実に保健指導へつなげていくことが課題。		
今後の方向性(取組)	特定保健指導の参加を勧め、個々に応じた保健指導を実施し、メタボ予備軍の減少に向けて取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	76	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	4 自分のことを健康だと思う市民の割合				
KPI(指標)の考え方	現状より増加することを目標とした。※市民意識調査より				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	68.3%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	97.6%
取組の内容と達成状況	過去の調査で「とても健康である」「どちらかといえば健康である」の割合は、平成28年度、29年度が60~61%台であり、平成3年度68.3%と上昇傾向にある。		
取組の評価・分析・課題	年代別で見ると10~20代が80%が「健康である」と回答、年代が上がるにつれて「健康である」という回答率が減少。どの年代でも「健康である」と考える割合の増加が課題。		
今後の方向性(取組)	健診受診で健康状態を客観的に確認をすること、また健診結果により要観察や要治療となった方が、適切に医療受診し、生活の質を維持、向上させることも「健康」につながると考える。そのため、健診受診勧奨を引き続き継続していきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	77	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	5 健康診断を受けている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	特定健診、後期高齢者健診を受けている割合として目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%
実績値	23.0%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	76.7%
取組の内容と達成状況	特定健診受診率は増加しているものの、後期高齢者健診の受診率が伸び悩み、全体の受診率も伸びなかった。		
取組の評価・分析・課題	健診は未受診だが通院・治療しているというケースが多い。生活習慣病・フレイル予防・医療費の観点からも健診の必要性を理解していただくことが課題。		
今後の方向性(取組)	健康教室、地区のサロン等での受診勧奨の継続に加え、健康ポイント事業をさらに周知し、健診の意識付けを行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	78	種別	総合計画	担当部署	医療健康課健康推進係
基本戦略/基本理念	基本理念1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり			施策	1-2 健康づくりの推進
KPI(指標)	6 心はればれゲートキーパー養成講座受講者数				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市いのち支える自殺対策計画」より、受講者数毎年100人を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	100人	100人	100人	100人	100人
実績値	99人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	99.0%
取組の内容と達成状況	身近な人が発する自殺の危機を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるボランティアの養成を目的としている。概ね目標の人数が受講した。		
取組の評価・分析・課題	民生委員の定例会などで周知を図ることで、新規の受講者が多かった。誰もが地域で安心して生活していくため、悩みを抱える人への早期の気づきに対応できる人の養成をさらに増やしていく必要がある。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携しながら、周知を図り、新規の受講者を増やしていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	79	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	1 支援調整会議における検討者数、自立者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数(11人)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77人	88人	99人	110人	121人
実績値	59人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	76.6%
取組の内容と達成状況	自立支援制度に関わる各種相談受付、就労支援、家計相談支援を実施し、支援調整会議において関係機関と支援方法について意見交換を実施した。		
取組の評価・分析・課題	支援調整会議を定期的で開催し、生活困窮者の抱える課題に沿った支援プランを策定した。		
今後の方向性(取組)	潜在的な要支援者に向けた制度の周知の強化と、就労プラン作成から一般就労へつなげるよう取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	80	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	2 ひきこもり解消(社会参加、就労)数【累計】				
KPI(指標)の考え方	現状値を基準に、各年度の平均増加数(10人)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	67人	77人	87人	97人	107人
実績値	47人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	70.1%
取組の内容と達成状況	当事者の会である「きたきた希望の会」(社会福祉協議会)や若者自立サポーターの会「くまっこ」などの会を開催し、少しずつ社会参加することを目指した。		
取組の評価・分析・課題	当事者の会への参加から、徐々に社会参加ができるようになり、少数ではあるが一般就労までつながった当事者も出てきた。		
今後の方向性(取組)	引きこもりの状況把握や解消は、個々の事情が異なるため対応方法も様々となるが、長期的な支援を行うために、包括的な取組を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	81	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-2 地域福祉の充実
KPI(指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいる市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%	91.8%
実績値	86.1%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	民生児童委員や社会福祉協議会等と連携し、地域住民の抱える課題を解決できるよう取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	達成目標値には若干下回っているが、関係各機関との連携により、90%以上の人が相談できる人がいる状況を維持できた。		
今後の方向性(取組)	民生児童委員の地域での積極的な相談支援活動と、社会福祉協議会の全戸訪問を始めとする各関係機関との連携等、地域で支え合う力を高めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	82	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	1 要介護・要支援認定を受けていない後期高齢者(75歳以上)の割合				
KPI(指標)の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%
実績値	66.3%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	97.5%
取組の内容と達成状況	コロナ禍にあっても三圏域に配置した地域包括支援センター等による介護予防への取り組みにより、急激な認定者の増加はしていないものの、目標値達成はできなかった。		
取組の評価・分析・課題	三圏域に配置した地域包括支援センター等の取り組みにより、現状を維持しているが、高齢者人口が減少していることから、目標達成は困難が想定されるため、現状維持に向けた活動強化が課題となる。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センター等による介護予防への取り組み強化により、現状の数値維持に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	83	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課介護保険係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	2 要介護・要支援認定を受けていない前期高齢者(65歳~74歳以下)の割合				
KPI(指標)の考え方	健康づくりや介護予防への支援強化で現状維持を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
実績値	96.3%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	99.3%
取組の内容と達成状況	コロナ禍にあっても三圏域に配置した地域包括支援センター等による介護予防への取り組みにより、急激な認定者の増加はしていないものの、目標値達成はできなかった。		
取組の評価・分析・課題	三圏域に配置した地域包括支援センター等の取り組みにより、現状を維持しているが、高齢者人口が減少していることから、目標達成は困難が想定されるため、現状維持に向けた活動強化が課題となる。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センター等による介護予防への取り組み強化により、現状の数値維持に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	84	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	3 悩みや不安を相談できる人がいないと答えた60歳以上の市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	11.8%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	42.4%
取組の内容と達成状況	コロナ禍にもかかわらず地域包括支援センターにおける総合相談対応件数は過去最高であり、地域で相談できる体制とした効果が見え始めたものの、目標達成はできなかった。		
取組の評価・分析・課題	地域包括支援センターの認知度が向上したことにより、総合相談件数は増加したが、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等にも力を入れ、問題を抱えている方へ早期に対応できる体制構築が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センターにおける総合相談対応、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等を強化するとともに、自主的な通いの場の立ち上げ支援や活動支援により信頼関係を深めることにより相談しやすい関係性の構築に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	85	種別	総合計画	担当部署	高齢福祉課高齢福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-3 高齢者福祉の充実
KPI(指標)	4 家族の世話や介護に不安を感じると答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の低い鷹巣地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%	36.5%
実績値	39.3%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	92.9%
取組の内容と達成状況	コロナ禍にもかかわらず地域包括支援センターにおける総合相談対応件数は過去最高であり、地域で相談できる体制とした効果が見え始めたものの、目標達成はできなかった。		
取組の評価・分析・課題	地域包括支援センターの認知度が向上したことにより、総合相談件数は増加したが、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等にも力を入れ、家族介護等に不安を抱えている方へ早期に対応できる体制構築が課題である。		
今後の方向性(取組)	地域包括支援センターにおける総合相談対応、地域へ出向いての実態把握、訪問による相談対応等を強化するとともに、自主的な通いの場の立ち上げ支援や活動支援により信頼関係を深めることにより相談しやすい関係性の構築に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	86	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	1 福祉施設入所者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(6.0%)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	122人	122人	122人	122人	122人
実績値	130人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	93.8%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び各福祉施設等の関係機関と連携し、福祉施設から地域へ安心して移行できるように、地域移行を希望される方に対して情報提供等の取組みを行った。概ね目標値のとおり順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	福祉施設入所中の方は、障害の程度が重度の方が多いため、地域移行することが困難な場合が多い。		
今後の方向性(取組)	関係機関と連携し、地域生活支援拠点の整備に向けて取り組んでいくとともに、自立訓練事業等の利用を促進することで、地域移行後も安心して生活できるような支援体制の充実を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	87	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	2 福祉施設から一般就労への移行者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(1.27倍)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	16人	16人	16人	16人	16人
実績値	9人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	56.3%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センターと連携し、一般就労へ移行を希望される方に対して情報提供を行ったが、目標値には及んでいない。		
取組の評価・分析・課題	福祉施設入所中の方は、障害の程度が重度の方が多いため、一般就労に移行することが困難な場合が多い。また、当市には就労移行支援、就労定着支援事業を提供する事業所がないことも、就労移行が進まない要因となっていると思われる。		
今後の方向性(取組)	就労先の障がい者に対する理解や、社会的障壁を除去するための合理的配慮が重要となるため、一般就労を希望する障がい者の方に寄り添った相談支援や情報提供に努めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	88	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	3 福祉施設から就労継続支援A型・B型への移行者数				
KPI(指標)の考え方	目標値は厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標を踏まえ、A型については指標(1.26倍)どおりに、B型については前期基本計画期間内実績の平均(88人)を踏まえた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人	A型5人 B型88人
実績値	A型5人 B型101人	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	114.0%
取組の内容と達成状況	基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センターと連携し、就労継続支援事業所へ移行を希望される方に対して相談支援や情報提供を行い、目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	障害の特性により向き不向きがあったり、就労環境によって就労意欲が減退したりすることも考えられるため、障がい者それぞれに合わせた相談支援や情報提供が重要であるとする。		
今後の方向性(取組)	引き続き、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター、就労継続支援事業所と連携し、就労意欲の推進を図るとともに、障がい者と就労先との連携等フォロー体制の整備を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	89	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	4 就労移行支援事業の利用者数【累計】				
KPI(指標)の考え方	厚生労働省による障害福祉計画に係る成果目標及び活動指標(現状の利用者数(2人)を確保)に準じた目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6人	8人	10人	12人	14人
実績値	3人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	50.0%
取組の内容と達成状況	市内に就労移行支援事業所が無い場合、市外の事業所を利用せざるをえず距離的な障壁があるため、利用者数は多くない。基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、相談支援や情報提供等の取組みを行っている。		
取組の評価・分析・課題	市内に就労移行支援事業所がないこと、市外の就労移行支援事業所を利用するには距離的に障壁のあることが主な要因と考えられる。		
今後の方向性(取組)	引き続き、基幹相談支援センター及び障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、就労移行支援事業の相談支援や情報提供体制の充実を図っていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	90	種別	総合計画	担当部署	福祉課地域障がい福祉係
基本戦略/基本理念	基本理念2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり			施策	2-4 障がい者福祉の充実
KPI(指標)	5 公共施設バリアフリー率【累計】				
KPI(指標)の考え方	バリアフリー基準(最低6項目)に1項目で該当する可能性のある施設数(6)を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	24.5%	25.7%	26.9%	28.1%	29.3%
実績値	24.7%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	100.8%
取組の内容と達成状況	公共施設のバリアフリー化には、施設改修を伴うものが含まれるためなかなか進んでいない。		
取組の評価・分析・課題	新設施設ではバリアフリー化が進んできているが、既存施設の改修が必要な大きな整備は予算事情もあり、なかなか進まなかった。		
今後の方向性(取組)	障がい者が使いやすい施設の在り方を検討し、バリアフリー化を進めていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	91	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課世界遺産推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	1 伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	世界遺産としての価値を知ってもらうために、前期同様 50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	31.9%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R3年度)	63.8%
取組の内容と達成状況	ワーキンググループやジュニアボランティアといったボランティアグループと連携し、遺跡の魅力を発信するイベントを行ったことで、来訪者の増加につながり、「見学したことがある」割合を増加につなげることができた。		
取組の評価・分析・課題	自治体や外部団体と連携した事業により、見学者が増加した。引き続き遺跡を訪れるきっかけになるような取組の継続が必要である。10~30歳代より、40~60歳代が少ないことから、これらの年齢層が来訪するきっかけづくりが課題である。		
今後の方向性 (取組)	引き続き、遺跡の学術的な価値の発信や、世界文化遺産としての知名度を向上するような事業を計画し、来訪者の増加を図りたい。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	92	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課世界遺産推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	2 伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合				
KPI (指標) の考え方	世界遺産を目指す伊勢堂岱遺跡に関して、市民の意識醸成を図る意味で現状値の倍以上の5.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
実績値	2.5%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R3年度)	50.0%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症拡大のため、イベントやボランティアガイド活動に大きな制限があったものの、関係団体とは常に意見を交わし、コロナ収束後にむけた準備を行った。		
取組の評価・分析・課題	「既に協力している」「何か協力したいと思う」の数値が前年度より増加し、20~30歳代が特に高い。このような関心層が気軽にイベント等へ参加できるきっかけづくりが課題である。		
今後の方向性 (取組)	20回継続した縄文まつりをはじめ様々なイベントについて、市民や縄文遺跡群の自治体等の関係団体と連携し、従来の方法にとらわれない新しい発想を持ち寄り、内容の充実を図りたい。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	93	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課世界遺産推進係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	3 伊勢堂岱遺跡のボランティアガイドを始めた人数				
KPI (指標) の考え方	新たにボランティアを始める人を年1人ずつ増やすことを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1人	2人	3人	4人	5人
実績値	0人	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R3年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	ワーキンググループの様々な事業を通して、新会員募集を行ったが、入会につなげることが難しかった。		
取組の評価・分析・課題	ボランティアガイドの入会方法やガイドを行うまでの流れが不明確になっていることが課題である。		
今後の方向性 (取組)	ボランティアガイドのHPやSNS等を立ちあげ、入会方法や活動内容を明確に周知できる場を作る。ガイドの養成方法を見直し、入会后安心して来訪者を案内できるような仕組みづくりを行う。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	94	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	4 芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	芸術や文化に触れることで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすことにつながるよう、8.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
実績値	4.2%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率 (R3年度)	52.5%
取組の内容と達成状況	公民館等の窓口において、各団体のサークル等情報を継続して提供しているが、コロナ感染症の影響により活動を自粛する団体も多く見受けられた。		
取組の評価・分析・課題	コロナ感染症の影響で文化祭が中止となり、代替として各公民館で作品を展示する「みんなの作品展」を実施し、広く芸術文化団体を紹介することができた。また、高齢化による団体の存続と新たな会員の確保が課題である。		
今後の方向性 (取組)	市民が芸術文化に触れる機会を創出し、市民が豊かな生活を感じることができるよう、文化会館で実施する自主事業の内容を充実していく。市文化祭を開催し、引き続き各団体活動意欲を促進する。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	95	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	5 市内にある文化財を5つ以上、知っている市民の割合				
KPI (指標) の考え方	地域にある文化財を知ることによってその価値を知るきっかけとなり、地域の宝として継承することにつながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	55.0%	57.5%	60.0%	62.5%
実績値	52.9%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率 (R3年度)	264.5%
取組の内容と達成状況	2019年に旧長岐家住宅が県指定文化財となり、2020年には葛黒火まつりかまくら、2021年に鎌沢の道標石(口曲がり地蔵)が市指定文化財となり、そして同年に伊勢堂岱遺跡を含む北東北・縄文遺跡群が世界文化遺産登録となり、広報や報道の話題となったことで、市民も文化財に関心をもったと推察される。		
取組の評価・分析・課題	文化財の指定と文化財保護審議会の活動をとおして、広く市民に周知を図ってきたことで目標を上回った結果が継続している。		
今後の方向性(取組)	これからも審議会の活動を通して、世界遺産推進係と連携し、文化財の概要等の周知を図っていく。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	R3年度実績値がR7年度目標値を超過していることから、目標値を上方修正する。さらに4年度から6年度までの目標値も右肩上がりとなるよう見直す。
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	96	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	6 祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合				
KPI (指標) の考え方	祭りや伝統芸能等の地域行事に参加することで、祭りや伝統芸能等の保存継承につながるよう、35.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%	35.0%
実績値	16.2%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R3年度)	46.3%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年より実績割合は微増した。地域行事の自粛や中止が相次ぐ傾向があった。また、民俗芸能大会も無観客での開催となった。		
取組の評価・分析・課題	民俗芸能大会を開催し、市民に地域の伝統を紹介する機会を提供している。各地域の伝統芸能の保存と承継が課題になっている。		
今後の方向性 (取組)	民俗芸能大会を継続開催し、伝統芸能の発表の場を提供し市民へ広く紹介していく。併せて各団体の民俗芸能を映像記録として撮影し保存と承継を図る。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	97	種別	総合計画	担当部署	生涯学習課文化係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-4 芸術・文化の継承と振興
KPI (指標)	7 市内に限らず、年1回以上芸術文化を鑑賞した市民の割合				
KPI (指標) の考え方	芸術文化を鑑賞することで、市民の幸福度が向上し心豊かに暮らすこと、また鑑賞の場の提供の在り方等の評価につながるよう、概ね2世帯1人を目安の6,998人とし、全人口の概ね20.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	20.0%	38.0%	40.0%	42.0%	44.0%
実績値	36.0%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率 (R3年度)	180.0%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響で減少が続く結果となったが、目標値は上回った。感染症の影響は以前より小さくなっているが、世間の雰囲気では、まだ芸術鑑賞に出かけて楽しむような状況ではない。		
取組の評価・分析・課題	「鑑賞しなかった」と答えた割合が60.7%であり、「鑑賞した」の36%よりも高くなっている。目標は達成されているが、社会の空気が芸術作品を楽しむ状況ではない。		
今後の方向性 (取組)	コロナ感染症が収束に向かうことで、社会の雰囲気も明るくなり、旅行支援等の国の支援等も予想されることから、経済が回復し再び気軽に芸術鑑賞できる社会が到来することを期待する。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	R3年度実績値がR7年度目標値を超過していることから、目標値を上方修正する。さらに4年度から6年度までの目標値も右肩上がりとなるよう見直す。
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	98	種別	総合計画	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	1 運動・スポーツに対する満足度				
KPI (指標) の考え方	少子化・人口減少が見込まれる中だが、市民意識調査における現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
実績値	57.0%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R3年度)	81.4%
取組の内容と達成状況	既存スポーツ施設の維持、用具の整備を図り、スポーツ協会、スポーツ推進委員等との協働により、市民のスポーツ実施機会を増やすためのニュースポーツ体験、各種スポーツ教室、各種大会を実施。		
取組の評価・分析・課題	スポーツ実施機会を増やすための取り組みを行っているが、満足していない理由として、「十分な時間がない」「施設が少ない」「施設まで遠い・設備が不十分」等があげられており、従来とは違うスポーツ種目や実施環境等の工夫が必要。		
今後の方向性 (取組)	スポーツ実施機会を増やすための取り組みを行っているが、満足していない理由として、「十分な時間がない」「施設が少ない」「施設まで遠い・設備が不十分」等があげられており、従来とは違うスポーツ種目や実施環境等の工夫を行なう。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	※スポーツ推進に関する市民意識調査 (スポ振独自) 調査対象: 市内の満18歳以上の男女 対象者数: 1,400人
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	99	種別	総合計画	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	2 週1回以上運動・スポーツをする市民の割合				
KPI (指標) の考え方	県の目標値は週1回以上 65.0%となっているが、市民意識調査における本市の特性を踏まえ、50.0%を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	39.6%	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R3年度)	79.2%
取組の内容と達成状況	既存スポーツ施設の維持、用具の整備を図り、スポーツ協会、スポーツ推進委員等との協働により、市民のスポーツ実施機会を増やすためのニュースポーツ体験、各種スポーツ教室、各種大会を実施。		
取組の評価・分析・課題	コロナの影響もあり、スポーツ教室等への参加率は低かったが、市民のスポーツ実施機会を増やすきっかけづくり要因の一つにはなった。参加率を上げるための工夫が必要。		
今後の方向性 (取組)	スポーツ推進に関する市民意識調査の結果からも市民のスポーツを実施したい意識は高まっていることから、取り組みたいスポーツや場所、機会の提供の仕方を工夫していくことが必要。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	※スポーツ推進に関する市民意識調査 (スポ振独自) 調査対象: 市内の満18歳以上の男女 対象者数: 1,400人
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	100	種別	総合計画	担当部署	スポーツ振興課スポーツ係
基本戦略/基本理念	基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり			施策	3-5 スポーツの振興
KPI (指標)	3 スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】				
KPI (指標) の考え方	補助事業の活用を広く周知することで、現状値以上を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体	延べ500名5団体
実績値	0名0団体	—	—	—	—

※「KPI (指標)」・「KPI (指標) の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証 (自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率 (R3年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	コロナの影響により、当初予定されていた合宿計画も中止となり実績が無かったが、当市における合宿実績のある企業、大学などの誘致を図った。		
取組の評価・分析・課題	当事業の情報発信力が弱く、合宿誘致の実績のある企業、大学等への対応が主で新規開拓等への取り組みが乏しかった。当市の状況から、幅広い種目には対応できないが、実績のある企業、大学等の要望、課題等を分析し繰り返し利用されるよう取り組む。		
今後の方向性 (取組)	当市のスポーツ施設、宿泊施設等の合宿誘致に関する環境については特別に秀でたものは無いが、既存施設、気候、環境などの長所などをアピールし、各団体等のニーズに合った合宿を検討できるよう情報提供等取り組む。		

KPI (指標) / 数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI (指標) の考え方等	
--------------------------	---	--------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	101	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	1 家庭ごみ1日1人あたりの排出量				
KPI(指標)の考え方	平成26年度と令和元年度の家庭ごみ総排出量を比較し、その増減率から目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日	642.8g/人・日
実績値	689g/人・日	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	93.3%
取組の内容と達成状況	広報誌等で、リサイクル及びごみ減量化の重要性(3Rの推進)について周知を図った。		
取組の評価・分析・課題	家庭から収集されたごみは減少傾向であったが、一方で直接搬入されるごみが増加しており、ごみの減量化が進まない。		
今後の方向性(取組)	市民1人1人のごみ減量に対する自覚を促すため、市広報等や出前講座等を活用して3Rの推奨や食品ロスの削減に向けた啓発活動を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	102	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	2 総資源化率(リサイクル率)				
KPI(指標)の考え方	一般廃棄物処理基本計画に掲げた目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	15.4%	15.7%	18.6%	21.5%	24.6%
実績値	15.1%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	98.1%
取組の内容と達成状況	広報誌等で、リサイクル及びごみ減量化の重要性(3Rの推進)について周知を図った。		
取組の評価・分析・課題	資源ごみを可燃ごみとして廃棄する割合が高く、また、市以外でも資源回収を行っており、資源ごみの回収が進まない。		
今後の方向性(取組)	市広報およびHP、出前講座等を活用し、市民に対し資源ごみの分別徹底を図り、リサイクル率の向上を推進する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	一般廃棄物処理基本計画の策定に伴い、資源化率の算出方法が変更になるため目標値を変更する。 あわせて指標の考え方も「一般廃棄物処理基本計画に掲げた目標値」とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	103	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	3 不法投棄件数				
KPI(指標)の考え方	ここ数年のうち最も少なかった件数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40件	40件	40件	40件	40件
実績値	112件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	35.7%
取組の内容と達成状況	注意喚起の看板設置や監視員の巡回等で不法投棄の抑制を図った。		
取組の評価・分析・課題	巡回件数の増加により監視は強化され、不法投棄の発見件数も増加した。		
今後の方向性(取組)	市広報およびHP、出前講座等を活用し、市民に対する不法投棄防止の周知・啓発を行い、監視カメラを設置し、監視の徹底を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	104	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-1 ごみの減量化推進と適正な処理
KPI(指標)	4 クリーンアップ活動に参加している延べ人数の割合				
KPI(指標)の考え方	ここ数年で最も多い参加人数が現状維持となるよう目標を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%	32.7%
実績値	27.6%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	84.4%
取組の内容と達成状況	各自治会・町内会の協力のもと、安全に行うことができた。		
取組の評価・分析・課題	恒例の事業となっており、環境美化活動に対する市民の参加は見られたが、参加者の高齢化や人口減少により参加人数の割合が減少している。		
今後の方向性(取組)	これまで同様、関係各位の連携のもと、環境美化に対する意識の高揚を図り、市民の参加率向上を推進する。また、学校教育等を通じた啓発活動を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	105	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI(指標)	1 地球温暖化防止につながる取組をしている市民の割合(冷暖房の温度設定の調整)				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において最も意識の高かった節電・節水の水準に達することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%	60.9%
実績値	52.2%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	85.7%
取組の内容と達成状況	広報に「環境コラム」を掲載し、市民の環境問題に対する意識啓蒙を図った。		
取組の評価・分析・課題	環境問題に対する市民の意識啓蒙が図られた。		
今後の方向性(取組)	今後も継続してイベントや出前講座等を活用し、市民の環境問題に対する意識啓蒙を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	106	種別	総合計画	担当部署	生活課環境係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-2 地球温暖化対策の推進
KPI(指標)	2 公共施設(市直営施設)におけるCO2排出量				
KPI(指標)の考え方	北秋田市地球温暖化防止実行計画の目標に参照し、年間1.0%削減を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	12,796t-CO2	12,664t-CO2	12,532t-CO2	12,400t-CO2	12,268t-CO2
実績値	10,895t-CO2	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	117.4%
取組の内容と達成状況	公共施設における節水の徹底や冷暖房での適切な温度管理等を図った。		
取組の評価・分析・課題	全庁的に環境問題に対する取り組みが図られた。		
今後の方向性(取組)	公用車のエコドライブをはじめ、今後も各公共施設において、節電や節水等に努め効率的な施設運用に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	107	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	1 市道の改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する改良済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	78.8%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%
実績値	78.2%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	99.2%
取組の内容と達成状況	R3年度の改良工事としては5件施工し、施工延長L=2,500mで内容としては、舗装工及び落石防止網工、橋梁上部工を行い概ね順調であった。		
取組の評価・分析・課題	進捗率については、市道の認定・廃止等により改良済延長及び実延長も増えていることから、達成率の伸びが不明状態である。		
今後の方向性(取組)	今後も引き続き事業に取り組む		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	108	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	2 市道の舗装率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※全道路延長に対する舗装済道路総延長の比率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	72.7%	73.3%	73.8%	74.4%	75.0%
実績値	71.6%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	98.5%
取組の内容と達成状況	R3年度の工事においては、舗装維持等はあったが、新規に砂利道から舗装に改良した工事はなかった。		
取組の評価・分析・課題	進捗率については、市道の認定・廃止等により舗装道延長及び実延長も増えていることから、達成率の伸びが不明状態である。		
今後の方向性(取組)	今後は、市道で生活道路として利用している砂利道を舗装敷設ができるよう事業に取り組む		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	109	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	3 緊急度が高い道路の舗装改良率【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※平成25年度に実施した路面性状調査における緊急度が高い道路延長に対する改良率				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	77.9%	79.8%	81.7%	83.6%	85.5%
実績値	75.1%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	96.4%
取組の内容と達成状況	R3年度より舗装補修に交付金の配当があったことにより、事業実施ができるようになった。		
取組の評価・分析・課題	交付金以外の他の事業も活用しながら、進捗率を上げていきたい。		
今後の方向性(取組)	交付金以外、他の事業等も活用しながら実施して行きたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	後期計画目標値の設定時において、交付金の配当見込みがなかったが、令和3年度より交付金配当があったことにより、令和7年度目標値を前期目標値と同様に変更し、さらに目標値も段階的に伸びるよう見直す。
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	110	種別	総合計画	担当部署	建設課工務係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-3 道路網の充実
KPI(指標)	4 早期措置段階の橋梁補修数【累計】				
KPI(指標)の考え方	過去数年の実績傾向が令和7年度まで続くと考え、目標を設定した ※北秋田市橋梁長寿命化修繕計画に基づき健全度「Ⅲ」:早期措置段階・「Ⅳ」:緊急措置段階・「跨線橋・跨道橋」の早期と判定された橋梁104橋				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	9橋	17橋	24橋	33橋	37橋
実績値	9橋	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	100.0%
取組の内容と達成状況	健全度Ⅲの橋梁補修を計画的に進めていく予定で、工事期間が非出水時期に制限されているため進捗率を上げることが難しい状態であるが、R3年度末現在は順調に施行できた。		
取組の評価・分析・課題	工事期間が非出水期で制限され、進捗率を上げるには難しい状態である。		
今後の方向性(取組)	橋梁長寿命化修繕計画に基づき事業を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	111	種別	総合計画	担当部署	都市計画課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	1 水洗化率【累計】				
KPI(指標)の考え方	県及び市の「生活排水処理整備構想」の見込みから目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	87.1%	88.8%	90.4%	92.0%	93.7%
実績値	80.3%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	92.2%
取組の内容と達成状況	鷹巣処理区北部の整備と、未加入世帯への加入促進に対する周知啓発に取り組んだ。		
取組の評価・分析・課題	人口減少問題や高齢世帯の増加など、目標値達成は厳しいものの、未整備地区の着実な整備と未加入世帯への丁寧な周知啓発を進めながら、水洗化率の向上に努める。		
今後の方向性(取組)	高齢者世帯の増加や経済的事情もあるが、供用対象区域の未加入世帯に対して、ダイレクトメールの送付等、新たな取り組みの展開を図る。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	112	種別	総合計画	担当部署	都市計画課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	2 経費回収率				
KPI(指標)の考え方	公共下水道・農業集落排水・特定地域生活排水処理の各事業経営戦略目標値等をもとに設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	90.9%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	101.0%
取組の内容と達成状況	処理場の施設設備の計画的な修繕や、維持管理費の経費削減を徹底する等、経費回収率の向上に努めた。		
取組の評価・分析・課題	人口減少傾向にある中、老朽施設、設備等の維持管理に対応しているが、汚水処理費用に対し、使用料収入が不足する状況が続くなど、健全な事業運営であるといえない。また、事業ごとの経費回収率も偏りがあり公平性に欠ける等、課題も多い。		
今後の方向性(取組)	事業の健全運営のため、統一していない使用料体系、適正な使用料設定について、審議委員会等を開催しながら、協議、検討に取り組んでいく。市民への周知についても広く理解を求めるよう努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	113	種別	総合計画	担当部署	都市計画課下水道係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-6 下水道等の整備
KPI(指標)	3 合併処理浄化槽設置基数【累計】				
KPI(指標)の考え方	「北秋田市地域循環型社会形成推進地域計画」で掲げる設置予定基数(30基/年)を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	1,124基	1,154基	1,184基	1,214基	1,244基
実績値	1,090基	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	97.0%
取組の内容と達成状況	住宅リフォーム補助など他事業の設置工事助成に併せて、嵩上げ補助の実施等、成果向上への取り組みを進めた。		
取組の評価・分析・課題	単身・高齢世帯の増加や、下水道整備区域外の家屋新改築件数の減少により、想定した設置基数を大きく下回っている。		
今後の方向性(取組)	下水道整備区域外の未設置世帯に対し、周知啓発に努める。また、国や県の補助事業や他事業の助成を広く周知して、設置基数増加へPRしていく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	114	種別	総合計画	担当部署	水道課管理係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	1 有収率				
KPI(指標)の考え方	計画的に漏水調査及び管路更新に長期的に取り組む中で、通過点としての目標値を設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
実績値	71.2%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	94.9%
取組の内容と達成状況	専門業者への委託に加え独自の夜間配水量調査の効果もあり、前年度実績を上回ったが目標値には達成できなかった。		
取組の評価・分析・課題	単年度契約では契約に至る事務作業により調査期間が短くなり、再調査や復元漏水までの実施が困難であった。		
今後の方向性(取組)	令和4年度から調査委託を3カ年で契約し実質の調査期間が増すことで再調査や復元漏水、分析、予測など効率的かつ効果的に取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	115	種別	総合計画	担当部署	水道課経営係
基本戦略/基本理念	基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり			施策	4-7 上水道・簡易水道の整備
KPI(指標)	2 収納率				
KPI(指標)の考え方	類似団体の水準を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	99.0%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%
実績値	99.5%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	100.5%
取組の内容と達成状況	令和2年度より徴収業務を民間委託し、同時にコンビニ収納やスマホ収納を開始したことにより目標を達成した。		
取組の評価・分析・課題	民間のノウハウを用い納付勧奨を効果的に行うことで自主的な納付につながっている。また、コンビニ納付等の普及により納付機会が増加した。		
今後の方向性(取組)	現在の取り組みを継続し、新たな未納を発生させないよう積極的な納付勧奨に取り組む。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	令和3年度の実績や委託業者の他団体での実績を踏まえて令和4年度以降の目標値を上方修正する。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	116	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	1 救命講習を受講したことがある市民の割合				
KPI(指標)の考え方	令和元年中、救急で心肺停止状態に陥った方に対し、その場に居合わせた方による応急手当が施された割合は約56.0%であり、救命講習受講者を継続的に増やすことで応急手当の実施率が高くなり、救命率の向上も期待されることから目標値を60.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績値	53.6%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	89.3%
取組の内容と達成状況	新型コロナウイルス感染症拡大により、例年通り講習を開催できていない。		
取組の評価・分析・課題	毎年2,000人の参加を目標にしているが、コロナ禍で目標達成が厳しい状況にある。		
今後の方向性(取組)	救命率を上げるためには市民による一次救命処置が重要であるため、今後も講習会等で市民教育を実施する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	117	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	2 住宅用火災警報器の設置率				
KPI(指標)の考え方	総務省消防庁による住宅用火災警報器設置状況調査(無作為抽出)の設置率を基準に、目標値を95.0%とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績値	89.6%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	94.3%
取組の内容と達成状況	設置促進及び維持管理の啓発を継続している。		
取組の評価・分析・課題	街頭及び紙面による広報や、防災講話などでの啓発活動の成果があったと思われるが、未設置及び設置から10年以上経過した機器の点検交換を推奨する必要がある。		
今後の方向性(取組)	高齢者世帯などを重点に、関係機関と連携し設置率の向上を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	118	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	3 救急救命士数				
KPI(指標)の考え方	救急車1台につき救急救命士6人の配置が必要であることから、実働人員30人を目標値とした。(現保有台数:5台)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	30人	30人	30人	30人	30人
実績値	26人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	86.7%
取組の内容と達成状況	新規1名が救急救命士国家試験に合格し、運用開始している。		
取組の評価・分析・課題	現在の有資格者を除いた実働救急救命士は26名。実働人員30名を目標に今後も養成に努める。		
今後の方向性(取組)	全ての救急事案に救急救命士が搭乗するためには、30名の実働人員が必要であり、今後も救急救命士の養成を継続する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	119	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	4 消防団充足率				
KPI(指標)の考え方	基本消防団員と機能別消防団員の確保に努め、条例定員の90.0%を目標値とした。(定員670人)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値	93.8%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	104.2%
取組の内容と達成状況	消防団員の待遇改善を図り、また、広報媒体などを活用した入団促進を行ったが、高齢化の影響もあり、退団者数が多く、入団数が少ない状況となった。		
取組の評価・分析・課題	消防団員を募集していることの周知は一定数行えたが、なかなか入団にはつながらない状況であった。地元消防団員による加入促進活動が必要不可欠である。		
今後の方向性(取組)	消防団協力事業所や地元企業などと連携するとともに、地元の現役消防団員による様々な入団促進活動が必要である。団員の入団促進を図り、活力と魅力ある消防団を目指す。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	令和3年6月に「北秋田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」の改正により、条例定員が760人から670人となったためKPI(指標)の考え方を変更する。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	120	種別	総合計画	担当部署	消防本部
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-2 消防・救急体制の充実
KPI(指標)	5 消防団協力事業所数【累計】				
KPI(指標)の考え方	全消防団員の約7割が被雇用者であることから、事業所の消防団活動に対する理解と協力が必要となっているため、「消防団協力事業所表示制度」を推進し、毎年1事業所以上の登録を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	6事業所	7事業所	8事業所	9事業所	10事業所
実績値	8事業所	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	133.3%
取組の内容と達成状況	消防団員が複数所属している事業所に対し、理解と協力を求め、「消防団協力事業所」として令和3年度に4事業所が登録となり、令和3年度の目標は達成できた。		
取組の評価・分析・課題	市内の各事業所への協力依頼や、所属団員を通じて促進を図るなどして、年々登録事業所が増加した。団員数が減少している昨今、団員の加入促進も含めた取組ができるのが課題である。		
今後の方向性(取組)	消防団本部及び多くの現役団員にも協力を仰ぎ、団員自身が就労する事業所や関係する事業所への協力を図るなど、1つでも多くの事業所に登録してもらえるよう要請する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	121	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	1 交通指導隊・防犯指導隊員数【累計】				
KPI(指標)の考え方	隊員の減少傾向が続いているため、前期計画策定時の隊員数を目標値として設定した				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	80人	80人	80人	80人	80人
実績値	63人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	78.8%
取組の内容と達成状況	現役指導員の推薦・紹介を受け新入隊員の勧誘を行っているが、新入隊員の獲得に至っていない。		
取組の評価・分析・課題	毎年勧誘を行っているが、年齢等を理由とした退職が続いている状態となっている。		
今後の方向性(取組)	現役指導員の推薦・紹介による新入隊員の勧誘の他、広報等による募集を検討し、また報酬改定や定員の見直しを検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	122	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	2年間の交通事故件数(人身事故件数)				
KPI(指標)の考え方	直近5年間の平均値をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故件数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	35件	35件	35件	35件	35件
実績値	13件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	269.2%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携しながら交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールを行った。		
取組の評価・分析・課題	交通事故件数・交通事故による死傷者数の減少傾向が続いていることから、街頭指導・パトロールの有効性が認められる。		
今後の方向性(取組)	交通指導員の街頭指導・交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	123	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	3 交通事故死者数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による交通事故死者数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	0人	0人	0人	0人	0人
実績値	1人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	E:その他	進捗・達成率(R3年度)	-
取組の内容と達成状況	関係機関と連携しながら交通安全運動期間などでの街頭指導や交通指導車でのパトロールを行っているが、交通事故による死亡者が発生(1人)。		
取組の評価・分析・課題	長期的には、交通事故件数・交通事故による死傷者数の減少傾向が続いていることから、街頭指導・パトロールの有効性が認められる。		
今後の方向性(取組)	交通指導員の街頭指導・交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	毎年度の交通事故死者をゼロとする目標のためパーセンテージでは表せない。
----	-------------------------------------

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	124	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-3 交通安全の推進・防犯体制の強化
KPI(指標)	4 犯罪件数(刑法犯認知件数)				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の水準をもとに、目標値を設定した。(※北秋田警察署統計による犯罪件数)				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	40件	40件	40件	40件	40件
実績値	57件	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	70.2%
取組の内容と達成状況	関係機関と連携しながら、飲食店訪問など防犯指導員によるパトロール及び防犯カメラの設置による犯罪の未然防止、抑止に努めた。		
取組の評価・分析・課題	長期的には、刑法犯認知件数が減少傾向にあり、パトロールや防犯カメラの設置が防犯意識の啓発に有効と認められるが、特殊詐欺などが散発している状況にある。		
今後の方向性(取組)	交通指導員の街頭指導・交通指導車でのパトロールを継続して行う。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	125	種別	総合計画	担当部署	生活課地域推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-4 消費者保護の推進
KPI(指標)	1 消費生活に関する講座、研修会参加者数				
KPI(指標)の考え方	令和元年度の実績値から5年で20.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	174人	180人	186人	192人	200人
実績値	146人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B:概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	83.9%
取組の内容と達成状況	出前講座・研修会で特殊詐欺の被害防止・通信販売トラブル等の啓発を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大時期であることから、研修会の開催が減少している。		
取組の評価・分析・課題	講座・研修会により、消費生活センターの周知が進み、消費生活意識の啓発が図られている。		
今後の方向性(取組)	出前講座・研修会を継続して開催する。若年者の消費者教育に向け、小中学校での啓発活動を進める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	126	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	1 職員数(各年度4月1日現在)				
KPI(指標)の考え方	令和2年4月1日現在の実職員数(474人)を基準とし、令和2年度末職員数の現状及び将来的な要素を考慮し持続可能な行政サービスの維持継続のために必要と想定される職員数を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	464人	464人	464人	468人	468人
実績値	463人	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	99.8%
取組の内容と達成状況	目標値を達成した。		
取組の評価・分析・課題	総合戦略での目標値は達成したが、第2次職員定員適正化計画の職員数(R3 480人)から大幅に職員数が減少した。急激な減少により、業務量とのバランスや職員間のコミュニケーション不足からくる影響が懸念されている。		
今後の方向性(取組)	公務員制度改革や働き方改革を主軸に令和4年3月に北秋田市職員定員管理計画を策定した。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	北秋田市職員定員管理計画との整合性を図るため、令和6、7年度の目標値を468人へ修正。また、指標に「各年度4月1日現在」と表記する。
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	127	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	2 実質公債費比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
実績値	9.2%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	120.7%
取組の内容と達成状況	目標値内であり、地方債発行の制限により効果があったものとする。		
取組の評価・分析・課題	実質公債費比率は9.2%で、前年度と比較して0.8ポイント改善された。当該比率は3ヵ年平均として算出されるが、分子においては、公営企業債の償還財源に充てたと認められる繰入金減少、分母の標準財政規模に含まれる普通交付税及び臨時財政対策債の増などにより、結果として単年度では、前年度に比べて1.1ポイント改善している。		
今後の方向性(取組)	事業実施年度の平準化などにより地方債残高の抑制を図り、比率の抑制に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	128	種別	総合計画	担当部署	財政課財政係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	3 将来負担比率				
KPI(指標)の考え方	令和2年度で地方交付税の段階的縮減が終了したことを踏まえて行った財政課シミュレーション結果を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
実績値	51.7%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	164.4%
取組の内容と達成状況	目標値内であり、地方債発行の制限により効果があったものとする。		
取組の評価・分析・課題	将来負担比率は51.7%となり、前年度に比べて19.8ポイント大幅に減少した。これは分子の要因である将来負担額が減少し、そこから差し引かれる充当財源が増加し、また、分母の要因である標準財政規模が増加したことにより、比率が低下した。		
今後の方向性(取組)	事業実施年度の平準化などにより地方債残高の抑制を図り、比率の抑制に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	129	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	4 債権等(市税・負担金・使用料等)収納率				
KPI(指標)の考え方	平成30年度、令和元年度と98.5%以上を維持していることから、期間中に98.7%の収納率を目標値とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%
実績値	99.0%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	100.3%
取組の内容と達成状況	債権管理委員会及び作業部会を定期的に開催し現状の把握と効果的な対策について協議、検討を重ねた。		
取組の評価・分析・課題	作業部会において指摘、指導されたことを各所管で検討、取り組みの改善により収納率増に繋がったものとする。		
今後の方向性(取組)	引き続き必要な措置を講じ、収納率の低下を招かないよう取り組んでいく。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等
-----------------------	---	------------------------------

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	130	種別	総合計画	担当部署	総務課総務係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	5 市役所職員の窓口や電話での対応が良いと答えた市民の割合				
KPI(指標)の考え方	前期計画の市民意識調査による目標値をほぼ達成していることから、職員のさらなる意識改革、能力向上を目指し期間中に3.2%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	60.4%	61.1%	61.7%	62.4%	63.0%
実績値	56.6%	-	-	-	-

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	93.7%
取組の内容と達成状況	新規採用職員については、採用前の合同研修会のほか関連する研修会へ参加している。令和3年度においてはコロナ禍により集合研修の開催が困難であった。		
取組の評価・分析・課題	数年間微減が続いている。コロナ禍のマスク着用で表情が読み取れないことも影響していると思われる。研修だけにとどまらず、新たな取り組みも必要か。		
今後の方向性(取組)	職務、年代を問わず積極的に接遇研修の開催を継続していく取り組み(案)として、新規採用職員の条件付き採用期間は初心者マーク等で市民ほか職員間で認識できる取り組みや、スマイル接遇(案)ワッペン等を名札につけ、全庁で接遇向上の気運を高める等、新たな取り組みが必要。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	131	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	6 市ホームページの年間アクセス数				
KPI(指標)の考え方	人口が減少傾向にあるため、現状と同等程度のアクセス数を得ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	632,000件	632,000件	632,000件	632,000件	632,000件
実績値	787,159件	—	—	—	—

※「KPI(指標)」、「KPI(指標)の考え方」、「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	124.6%
取組の内容と達成状況	ちいきの話題をはじめ、最新の行政・観光情報などを随時継続掲載していることで、年度目標値を大きく上回り、過去最高のアクセス数となっている。		
取組の評価・分析・課題	令和元年度のホームページのリニューアル以降、ちいきの話題や行政情報、各種お知らせなど情報更新の継続や、世界文化遺産「伊勢堂岱遺跡」、新型コロナウイルス関連などの特設ページなどにより、比較的若い世代やステークホルダーを中心にアクセス数が伸びているものと考えている。		
今後の方向性(取組)	これまで同様の取り組みを継続しながら、各部署の情報発信が円滑に推進できるよう、さらに情報共有と連携に努める。また、内容の充実と適切な運用に努める。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	132	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	7 何かしら市政情報を得ている市民の割合				
KPI(指標)の考え方	市民意識調査において回答割合の高い森吉地区の水準を全市の目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
実績値	92.6%	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	B: 概ね順調に推移	進捗・達成率(R3年度)	94.5%
取組の内容と達成状況	市民意識調査報告書では、「広報きたあきた」が86.4%で最も高くなっており、全体でも92.6%の達成率であることから、概ね順調に推移している。		
取組の評価・分析・課題	実績値(達成率)は概ね横ばいで推移しているが、依然として広報紙の割合が高い。広報紙は、表紙やカラーページ、特集記事などが一定の評価を得ているものと考えている。また、近年はホームページやSNSのデジタル媒体が増加傾向にあるため、ターゲット層を踏まえた情報発信、周知啓発にも努める必要がある。		
今後の方向性(取組)	「広報きたあきた」の紙面内容の充実はもとより、ホームページやSNSなど複数の媒体をうまく活用することで、相乗効果と効果的かつ戦略的な情報発信に努めていきたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	133	種別	総合計画	担当部署	総合政策課広報係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	8 SNSへのフォロワー数(twitter等)				
KPI(指標)の考え方	SNSを活用し情報を得る方が多くなっているため、より多くの方が活用できるよう現状の10.0%の増加を目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2,336件	4,350件	4,785件	5,263件	5,789件
実績値	3,955件	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	A: 目標を達成	進捗・達成率(R3年度)	169.3%
取組の内容と達成状況	公式SNS(twitter・Instagram・Facebook)を活用して、行政情報や観光情報など北秋田市の魅力ある情報発信を行っている。		
取組の評価・分析・課題	令和元年度末から開設運用となったが、令和3年度から創意工夫を凝らした発信方法を行い、順調にフォロワー数が伸びてきている。		
今後の方向性(取組)	フォロワー数を増やすことは困難であるが、今後も同様の取り組みを進めるとともに、発信方法など検討・工夫しながら多くの魅力ある情報発信に努めたい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	指標(KPI)について、策定時はアクセス数としていたが、SNSは一般的にフォロワー数を基準としているためフォロワー数へ変更する。あわせて目標値をアクセス数からフォロワー数へ変更する。また、実績のカウントがtwitterとなっていたが市の公式SNSにはInstagramとfacebookも運用しているため、その合計数値とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	134	種別	総合計画	担当部署	財政課デジタル化推進係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	9 電子申請届出サービスの利用の拡大				
KPI(指標)の考え方	オンラインでの電子届出サービス等の利用拡大を図り、市役所の各種申請等へ活用することを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2件	30件	45件	55件	60件
実績値	0件	—	—	—	—

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	D: 取組の改善が必要	進捗・達成率(R3年度)	0.0%
取組の内容と達成状況	電子申請届出サービスの利用拡大については、国のぴったりサービスと秋田県電子申請届出サービスの二つの利用拡大に取り組んでいる。電子申請手続きの件数としては、ぴったりサービス18件及び秋田県電子申請届出サービス8件となっているが、申請書等のダウンロードにとどまっており、電子申請が可能な状況となっていない。また、その電子申請の基盤となるマイナンバーカードの交付率についても3年度末で36.8%であり低調である。		
取組の評価・分析・課題	電子申請を行うためには、公的認証が不可欠であり、その基盤となるマイナンバーカードの普及率が低いことから、マイナンバーカードの交付率アップに向けた取り組みも合わせて行う必要がある。また、電子申請手続きを増やすためには、どのようにして申請データを受け取り、対応するのかの仕組みも重要である。そのため、担当者が簡単に電子申請を登録したり、申請を受け付け可能となるようなシステムが必要である。		
今後の方向性(取組)	令和4年度以降は、国のぴったりサービス利用のための連携サーバー、申請管理システムを導入し、電子申請手続きの受け入れ体制を整えるとともに、マイナンバーカードの普及と合わせて、電子申請手続きを増やす取り組みを行う。秋田県電子申請・届出サービスについては、ぴったりサービスではできない電子申請の受け皿として活用し、手続き数を増やしていきたい。それ以外の電子申請プラットフォームについては乱立をさけ庁内で充分検討し導入を検討したい。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	有	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	指標の算出について、①窓口申請のための申請書のダウンロードのみのサービスと、②窓口に来なくても電子申請が可能なサービスがあり、指標となる電子申請届出サービスの捉え方が曖昧な上、①の場合は市HPなどで行えるものが多岐にわたるため正確な算出が困難である。そのため、実績値は②の「窓口に来なくても電子申請が可能な手続き」とし、統合電子申請基盤としての「マイナポータルぴったりサービス」及び「秋田県電子申請・届出サービス」の二つとして、目標値もそれに合わせた件数とする。
-----------------------	---	------------------------------	---

備考	
----	--

(令和4年度) 第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・第2次北秋田市総合計画後期基本計画 効果検証シート 【個票】

NO	135	種別	総合計画	担当部署	総合政策課政策係
基本戦略/基本理念	基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり			施策	5-7 行財政改革の推進
KPI(指標)	10 RPAを導入する業務数				
KPI(指標)の考え方	新たにRPAを導入し、業務の効率化を図ることを目標とした				

	(令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)
目標値	2業務	4業務	6業務	8業務	10業務
実績値	1業務	-	-	-	-

※「KPI(指標)」・「KPI(指標)の考え方」・「目標値」の変更について、別紙の見直し資料に詳細を記載しています。

◆担当部署による検証(自己分析)

取組の進捗	C: 取組に努力を要する	進捗・達成率(R3年度)	50.0%
取組の内容と達成状況	各部署における業務内容(プロセス)と業務量を「見える化」し、現状を把握することで、当市における業務改革のヒントを探るため全庁業務評価を実施した。		
取組の評価・分析・課題	・全庁業務評価及び他自治体の実績をもとにRPA等を導入を検討する。・同じ業務であっても自治体によって事務手続きの進め方が異なるため、一様にRPAを導入することが困難である。		
今後の方向性(取組)	・全庁業務評価及び他自治体の実績をもとに各課へヒアリングを行い、RPA等を導入を検討する。		

KPI(指標)/数値目標 変更の有無	無	具体的な変更事由・内容 ※KPI(指標)の考え方等	
-----------------------	---	------------------------------	--

備考	
----	--

